EOS Utility 使用説明書

Windows

Canon Utilities

- EOS Utility 1.0（イオス ユーティリティ）

対応機種

- EOS-1D Mark II N
- EOS-1Ds Mark II
- EOS-1D Mark II
- EOS-1Ds
- EOS-1D
- EOS 5D
- EOS 30D
- EOS 20D
- EOS 10D
- EOS Kiss Digital N
- EOS Kiss Digital
- EOS D60
- EOS D30

目 次

CT1-7137EUWJ-000

はじめに

この章では、EOS Utility をお使いいただく前に知っておいていただきたい注意事項や、本使用説明書の操作方法、動作環境、対応画像の説明のほか、より快適にご使用いただくための、ソフトウェアの機能や構成などを記載しています。

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、弊社の製品をご購入いただきありがとうございます。
本書には製品をより安全にご使用いただくための注意事項や、操作の手助けとなるマークなどが本書の冒頭に記載されています。これらの内容をご一読いただいてから、各章の内容をお読みになり、正しくご使用ください。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ソフトウェアの仕様および、本書の内容を予告無く変更することがあります。
- 本書に掲載しているソフトウェアの画面や表示文言は、実際のソフトウェアと微小に相違することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一、誤りや記載もれなど、お気付きの点がありましたら、別紙のサービス窓口までご連絡ください。
- ソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

登録商標について

- Canon および EOS は、キヤノン株式会社の商標です。
- IBM PC/AT シリーズは、米国 International Business Machines 社の商標または登録商標です。
- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

動作環境

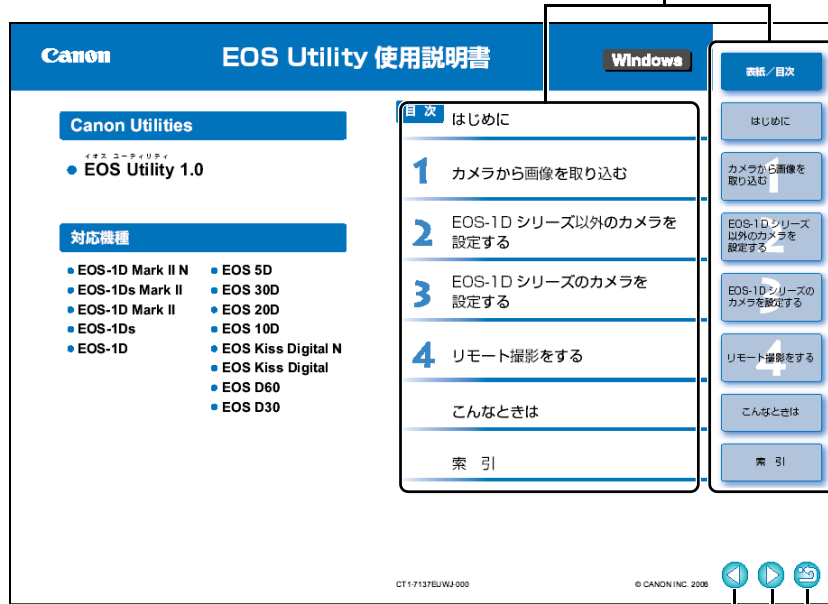
OS（オーエス）	Windows XP（Professional ／ Home Edition）、Windows 2000
機　種	上記の日本語版 OS がプリインストールされていて、USB 接続部を標準装備または、OHCI 準拠の IEEE1394 接続部を装備したパソコン ※アップグレード機は動作保証外
CPU（シーピーユー）	Pentium III 750MHz 以上
RAM（ラム）	256MB 以上
インターフェース	USB 1.1 ～ 2.0 Hi-Speed または、IEEE1394
ディスプレイ	画面の解像度：1024 × 768 ピクセル以上 画面の色：中（16 ビット）以上

対応機種・対応画像

本ソフトウェアが対応しているのは、以下のカメラと画像です。

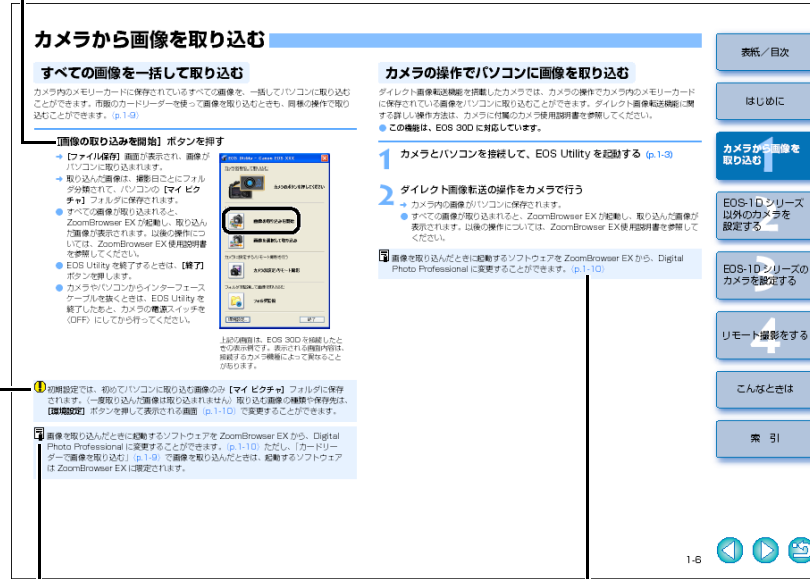
対応カメラ		対応画像
EOS-1D Mark II N	EOS 30D	左記のカメラで撮影した RAW 画像、JPEG 画像
EOS-1Ds Mark II	EOS 20D	
EOS-1D Mark II	EOS 10D	
EOS-1Ds	EOS Kiss Digital N	
EOS-1D	EOS Kiss Digital	
EOS 5D	EOS D60	
–	EOS D30	

本使用説明書の使いかた

クリックすると各章の章扉ページへ移動します。

クリックすると前のページへ移動します。

クリックすると次のページへ移動します。

クリックすると一つ前に表示していたページに戻ります。

［ ］内の語句は、パソコンの画面上に表示されるメニュー名称、ボタン名称、画面名称などを示しています。

：このマークのついた文章は、基本操作に加えて、知っておいていただきたい事項が書かれています。

：このマークのついた文章は、ソフトウェアやパソコンの操作に不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。

青で記載された（　）内の文字や文章中の青文字は、参照ページを示しています。また、クリックすると、該当するページに移動します。

- 本書では、Windows XP Professional ／ Home Edition を「Windows XP」、Windows 2000 Professional を「Windows 2000」と表記しています。
- EOS Utility の制限事項については、下記の情報もあわせて参照してください。
  Readme：［スタート］ボタン ▶［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）▶［Canon Utilities］▶［EOS Utility］▶［EOS Utility Readme］の順に選んで表示します。
- 画面上に表示されるカメラ名称は、すべて［EOS XXX］としています。
- カメラの操作については、カメラに付属の使用説明書を読まれたことを前提に説明しています。
- 本書では、Windows XP を使用したときの画面を例に説明しています。
- 本文中の〈　〉内の語句は、キーボードやカメラのボタン名称を示しています。
- 本文中の ▶ は、次のような操作の流れを示しています。
  例：［表示］メニュー ▶［表示サイズ］▶［ラージ］

ソフトウェアの主な機能と構成

EOS DIGITAL Solution Disk には、次のような特徴や機能を備えたキヤノン製デジタルカメラ専用の
ソフトウェアが収められており、EOS Utility を中心に、本ページのように各ソフトウェアと連携して動作します。

:撮影画像の流れを示しています。
:ソフトウェアからのカメラの制御内容を示しています。
:本書で説明しているソフトウェアの画面、および操作内容を示しています。
:Digital Photo Professional、ZoomBrowser EX の画面、および操作内容を示しています。

画像を取り込む
(p.1-6)

カメラの設定
(p.2-1、p.3-1)

リモート撮影
(p.4-1)

EOS Utility（カメラ用ソフトウェア）

- カメラと通信して、カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像をパソコンに取り込み、Digital Photo Professional や ZoomBrowser EX に転送することができます。(p.1-6)
- 画像を一括して取り込んだり、一覧表示された画像から、画像を選んで取り込むこともできます。(p.1-6 ～ p.1-7)
- カメラの各種設定を行うことができます。(p.2-1、p.3-1)
- パソコンからカメラを制御してリモート撮影し、画像をパソコンに取り込むことができます。(p.4-1)

取り込んだ画像を転送（p.1-6）
リモート撮影した画像を転送（p.4-1）

Digital Photo Professional（RAW 画像閲覧／編集ソフトウェア）

- RAW 画像の撮影が主体の方におすすめするソフトウェアで、RAW 画像の高速表示／高速現像、多彩な調整機能による画像編集を行うことができます。（JPEG 画像の表示／編集も行うことができます）
詳しい操作方法については、「Digital Photo Professional 使用説明書」を参照してください。

ZoomBrowser EX（画像閲覧／編集ソフトウェア）

- JPEG 画像の撮影が主体の方におすすめするソフトウェアで、画像の取り込み→閲覧→編集→印刷までの標準的なワークフロー（手順）を行うことができます。
詳しい操作方法については、「ZoomBrowser EX 使用説明書」を参照してください。

1 カメラから画像を取り込む

この章では、カメラからパソコンに画像を取り込むための準備や、取り込み方法について説明します。また、市販のカードリーダーを使った画像の取り込み方法についても説明します。

● 表示したい項目をクリックすると、クリックしたページが表示されます。

画像を取り込む準備をする

通信設定のあるカメラの設定をする

カメラのメニュー機能に［通信設定］のあるカメラでは、［通信設定］を行うことで、EOS Utility と通信してパソコンに画像を取り込むことができます。

- **本ページの設定は、EOS 5D、EOS 30D、EOS 20D、EOS 10D、EOS Kiss Digital N、EOS Kiss Digital の各機種で必要です。**
- **上記以外のカメラでは、カメラの設定は必要ありません。「カメラとパソコンを接続して EOS Utility を起動する」**(p.1-3) **へすすんでください。**

1 カメラとパソコンが接続されていないことを確認し、カメラの電源スイッチを〈ON〉にする

2 カメラの［通信設定］を設定する

- EOS 30D では、メニューの［**通信設定**］を［**印刷／ PC**］に設定します。
- EOS 30D と同様に、他のカメラでは下記表を参照して、［**通信設定**］を設定してください。

EOS 30D での操作画面

カメラ別［通信設定］

カメラ機種	メニュー	設定項目
EOS 5D	［通信設定］	［PC 接続］
EOS 30D	［通信設定］	［印刷／ PC］
EOS 20D	［通信設定］	［標準］
EOS 10D	［通信設定］	［標準］
EOS Kiss Digital N	［2 通信設定］	［PC 接続］
EOS Kiss Digital	［2 通信設定］	［標準］

3 〈MENU〉ボタンを押して液晶モニターの表示を消し、カメラの電源スイッチを〈OFF〉にする

- ［**通信設定**］を設定するときは、必ずカメラとパソコンが接続されていない状態で行ってください。カメラとパソコンを接続した状態で［**通信設定**］を設定すると、カメラやソフトウェアが誤動作します。
- EOS 5D、EOS Kiss Digital N をご使用のときは、カメラの［**通信設定**］が［**印刷／ PTP**］に設定されていると、EOS Utility のリモート撮影機能やカメラ設定機能は使用できません。
- EOS 30D をご使用のときは、カメラの［**通信設定**］が［**LAN（WFT-E1）**］に設定されていると、カメラと EOS Utility の通信はできません。
- EOS 20D、EOS 10D，EOS Kiss Digital をご使用のときは、カメラの［**通信設定**］が［**PTP**］に設定されていると、カメラと EOS Utility の通信はできません。
- EOS 10D は、ファームウェアを Version 2.0.0 以上に変更する必要があります。変更については、弊社ホームページをご覧ください。

PTP 設定について

Windows XP をご使用のときは、PTP（Picture Transfer Protocol）機能を使った JPEG 画像の取り込みを行うこともできます。(p.1-8)

カメラとパソコンを接続して EOS Utility を起動する

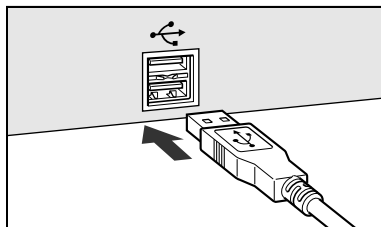
EOS-1D シリーズ以外のカメラとパソコンを接続する

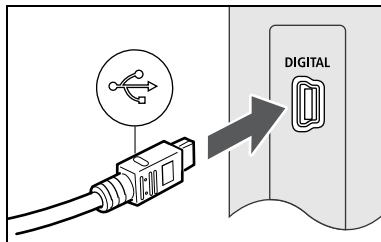
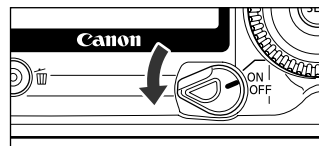
EOS 5D、EOS 30D、EOS 20D、EOS 10D、EOS Kiss Digital N、EOS Kiss Digital、EOS D60、EOS D30 での接続方法

画像の取り込みやカメラを設定するときは、カメラとパソコンを付属のインターフェースケーブルで接続します。接続はパソコンを起動した状態で行うことができます。

- EOS-1D シリーズのカメラとパソコンの接続方法については、次ページを参照してください。

1 専用ケーブルのプラグをパソコンに接続する

- USB 接続部にプラグを差し込みます。
- 接続部の位置については、パソコンの使用説明書を参照してください。

2 専用ケーブルのプラグをカメラに接続する

- プラグの〈 ⭠ 〉マークがカメラの前面に向くようにして、プラグをカメラの〈 DIGITAL 〉デジタル端子に差し込みます。

3 カメラの電源スイッチを〈ON〉にする

→ ［EOS Utility］が起動してメイン画面が表示され、カメラとパソコンが通信可能になりました。引き続き「カメラから画像を取り込む」（p.1-6）へすすんでください。

- カメラの選択画面が表示されたときは、接続したカメラを選ぶと［EOS Utility］が起動します。
- 上記の画面は、EOS 30D を接続したときの表示例です。表示される画面内容は、接続するカメラ機種によって異なることがあります。

- 右の画面が表示されたときは、**［Canon EOS Utility　EOS カメラから画像をダウンロードします］**を選んで［OK］ボタンを押すと、［EOS Utility］が起動します。
- ［EOS Utility］が起動しないときは、デスクトップの［EOS Utility］アイコンをダブルクリックするか、［スタート］ボタン ▶［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）▶［Canon Utilities］▶［EOS Utility］▶［EOS Utility］を選びます。

表紙／目次
はじめに
カメラから画像を取り込む 1
EOS-1D シリーズ以外のカメラを設定する 2
EOS-1D シリーズのカメラを設定する 3
リモート撮影をする 4
こんなときは
索　引

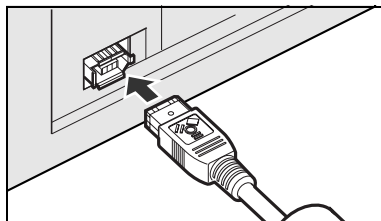
EOS-1D シリーズのカメラとパソコンを接続する

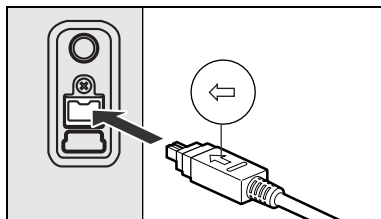
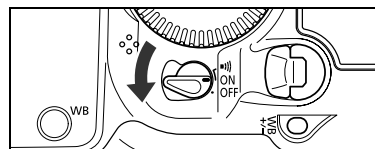
EOS-1D Mark II N、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II、EOS-1Ds、EOS-1D での接続方法

画像の取り込みやカメラを設定するときは、付属の IEEE1394 用インターフェースケーブルで接続します。接続はパソコンを起動した状態で行うことができます。

- EOS-1D シリーズ以外のカメラとパソコンの接続方法については、前ページを参照してください。

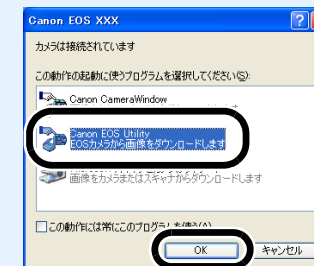
1 専用ケーブルのプラグをパソコンに接続する

- IEEE1394 接続部にプラグを差し込みます。
- 接続部の位置については、パソコンの使用説明書を参照してください。

2 専用ケーブルのプラグをカメラに接続する

- ケーブルプロテクターが付属されているカメラでは、ケーブルプロテクターをカメラに取り付けたあと、下記の手順で専用ケーブルを接続します。
- プラグの〈⇦〉マークがカメラの上面に向くようにして、プラグをカメラの〈 DIGITAL 〉デジタル端子に差し込みます。

3 カメラの電源スイッチを〈ON〉にする

→ [EOS Utility] が起動してメイン画面が表示され、カメラとパソコンが通信可能になりました。引き続き「カメラから画像を取り込む」(p.1-6) へすすんでください。

- カメラの選択画面が表示されたときは、接続したカメラを選ぶと [EOS Utility] が起動します。
- 上記の画面は、EOS-1D Mark II N を接続したときの表示例です。表示される画面内容は、接続するカメラ機種によって異なることがあります。

- 右の画面が表示されたときは、**[Canon EOS Utility　EOS カメラから画像をダウンロードします]** を選んで [OK] ボタンを押すと、[EOS Utility] が起動します。
- [EOS Utility] が起動しないときは、デスクトップの [EOS Utility] アイコンをダブルクリックするか、**[スタート]** ボタン ▶ **[すべてのプログラム]**（Windows 2000 では **[プログラム]**）▶ [Canon Utilities] ▶ [EOS Utility] ▶ [EOS Utility] を選びます。

表紙／目次
はじめに
1 カメラから画像を取り込む
2 EOS-1D シリーズ以外のカメラを設定する
3 EOS-1D シリーズのカメラを設定する
4 リモート撮影をする
こんなときは
索　引

カメラとパソコンを接続するときの注意

- カメラは液晶モニターを表示していると通信できません。必ず、液晶モニターの表示を消してから、カメラとパソコンを接続してください。
- カメラとパソコンが通信しているときは、カメラの表示パネル内容が点滅表示になることがあります。
- 専用ケーブル以外は使用しないでください。
- EOS-1D シリーズのカメラでは、専用ケーブルのプラグを逆向きにしてパソコンの IEEE1394 接続部に差し込むと、カメラやパソコンが故障することがあります。プラグの形状と IEEE1394 接続部の形状が正しく合うことを確認してから接続してください。
- EOS-1D シリーズのカメラでは、付属の USB 用インターフェースケーブルを接続しても、EOS Utility との通信はできません。
- プラグは、しっかりと根元まで差し込んでください。不完全な接続は故障や動作不良の原因となります。
- ハブを介してカメラとパソコンを接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。
- 複数の USB 機器（マウス、キーボードを除く）または、IEEE1394 機器をパソコンに接続していると、カメラが正しく動作しないことがあります。カメラ以外の USB 機器や IEEE1394 接続機器をパソコンから外してください。
- カメラのオートパワーオフ機能が働くと、自動的にカメラの電源が切れ、パソコンとの通信ができなくなります。事前にオートパワーオフ機能を「切」に設定してください。詳しくは、カメラに付属のカメラ使用説明書を参照してください。
- 1 台のパソコンにカメラを 2 台以上接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。
- カメラは複数のソフトウェアとは正常な通信ができません。カメラと通信するソフトウェアは 1 つにしてください。
- 専用ケーブルを取り外すときは、必ずプラグの側面を持って引いてください。
  ※ EOS D60、EOS D30 をご使用の方は、プラグの〈PUSH〉ボタンを押しながら引いてください。
- カメラとパソコンを接続したまま何も操作を行わないと、使用しているパソコン環境により、通信の継続を確認する画面が表示されることがあります。この画面が表示されたときは、さらに何も操作を行わないとカメラとの通信が切断されます。通信を再開するには、シャッターボタンを半押しするか、電源スイッチを〈OFF〉にして、再度〈ON〉にしてください。
- カメラとパソコンを接続している状態で、パソコンをスタンバイ（スリープ）状態にしないでください。
  万一、パソコンがスタンバイ状態になってしまったときは、専用ケーブルはパソコンから取り外さず、必ず接続したままでスタンバイ状態から回復してください。スタンバイ状態で専用ケーブルを取り外すと、パソコンの機種によってはスタンバイ状態から正常に回復しないことがあります。スタンバイ状態の詳細については、パソコンの使用説明書を参照してください。

- カメラとパソコンを接続するときは、EOS 5D、EOS 30D、EOS 20D、EOS 10D、EOS Kiss Digital N、EOS Kiss Digital では AC アダプターキット（別売）、EOS D60、EOS D30 では付属の DC カプラー、EOS-1D シリーズでは付属の DC カプラーキットの使用をおすすめします。
- EOS-1D シリーズのカメラと IEEE1394 接続部が 4 ピンタイプのパソコンを接続するときは、EOS-1D Mark II N、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II では 4 ピン－ 4 ピンタイプを、EOS-1Ds、EOS-1D では 4 ピン－ 6 ピンタイプの EOS-1D シリーズ専用のキヤノン製インターフェースケーブル（別売）を使用してください。
- EOS-1Ds、EOS-1D で付属の専用ケーブルを使用するときは、どちらのプラグ（6 ピンタイプ）をパソコンまたはカメラに接続してもかまいません。
- EOS D60、EOS D30 に専用ケーブルのプラグを接続するときは、プラグの〈▶〉マークと〈DIGITAL〉端子部の〈▶〉マークが合うように差し込みます。

カメラから画像を取り込む

すべての画像を一括して取り込む

カメラ内のメモリーカードに保存されているすべての画像を、一括してパソコンに取り込むことができます。市販のカードリーダーを使って画像を取り込むときも、同様の操作で取り込むことができます。(p.1-9)

[画像の取り込みを開始] ボタンを押す

- → [ファイル保存] 画面が表示され、画像がパソコンに取り込まれます。
- → 取り込んだ画像は、撮影日ごとにフォルダ分類されて、パソコンの [マイ ピクチャ] フォルダに保存されます。
- すべての画像が取り込まれると、ZoomBrowser EX が起動し、取り込んだ画像が表示されます。以後の操作については、ZoomBrowser EX 使用説明書を参照してください。
- EOS Utility を終了するときは、[終了] ボタンを押します。
- カメラやパソコンからインターフェースケーブルを抜くときは、EOS Utility を終了したあと、カメラの電源スイッチを〈OFF〉にしてから行ってください。

上記の画面は、EOS 30D を接続したときの表示例です。表示される画面内容は、接続するカメラ機種によって異なることがあります。

初期設定では、初めてパソコンに取り込む画像のみ [マイ ピクチャ] フォルダに保存されます。(一度取り込んだ画像は取り込まれません) 取り込む画像の種類や保存先は、[環境設定] ボタンを押して表示される画面 (p.1-10) で変更することができます。

画像を取り込んだときに起動するソフトウェアを ZoomBrowser EX から、Digital Photo Professional に変更することができます。(p.1-10) ただし、「カードリーダーで画像を取り込む」(p.1-9) で画像を取り込んだときは、起動するソフトウェアは ZoomBrowser EX に限定されます。

カメラの操作でパソコンに画像を取り込む

ダイレクト画像転送機能を搭載したカメラでは、カメラの操作でカメラ内のメモリーカードに保存されている画像をパソコンに取り込むことができます。ダイレクト画像転送機能に関する詳しい操作方法は、カメラに付属のカメラ使用説明書を参照してください。

- **この機能は、EOS 30D に対応しています。**

1 カメラとパソコンを接続して、EOS Utility を起動する (p.1-3)

2 ダイレクト画像転送の操作をカメラで行う

- → カメラ内の画像がパソコンに保存されます。
- すべての画像が取り込まれると、ZoomBrowser EX が起動し、取り込んだ画像が表示されます。以後の操作については、ZoomBrowser EX 使用説明書を参照してください。

画像を取り込んだときに起動するソフトウェアを ZoomBrowser EX から、Digital Photo Professional に変更することができます。(p.1-10)

画像を選んで取り込む

カメラ内のメモリーカードに保存されている画像を表示し、必要な画像を選んでパソコンに取り込むことができます。市販のカードリーダーを使って画像を取り込むときも、同様の操作で取り込むことができます。（p.1-9）

1 ［画像を選択して取り込み］ボタンを押す

➜ 画像取り込み画面が表示され、メモリーカード内の画像が表示されます。

上記の画面は、EOS 30D を接続したときの表示例です。表示される画面内容は、接続するカメラ機種によって異なることがあります。

2 取り込む画像を選ぶ

- 目的の画像をクリックします。
- 複数の画像を選ぶときは、〈Ctrl〉キーを押したまま画像をクリックします。
- 連続した画像を選ぶときは、最初の画像をクリックしたあと、〈Shift〉キーを押したまま、最後の画像をクリックします。

3 ［画像の取り込み］ボタンを押す

➜［画像の取り込み］画面が表示されます。

4 保存先を設定して［OK］ボタンを押す

➜［ファイル保存］画面が表示され、設定したフォルダに画像が保存されます。
- すべての画像が取り込まれると、ZoomBrowser EX が起動し、取り込んだ画像が表示されます。以後の操作については、ZoomBrowser EX 使用説明書を参照してください。
- メイン画面に切り換えるときは、［ウィンドウ］メニュー ▶［メイン画面］を選びます。
- EOS Utility を終了するときは、［ファイル］メニュー ▶［終了］を選びます。
- カメラやパソコンからインターフェースケーブルを抜くときは、EOS Utility を終了したあと、カメラの電源スイッチを〈OFF〉にしてから行ってください。

- 一度パソコンに取り込んだ画像には、［ ］が表示されます。
- AEB 撮影した画像には、［ ］が表示されます。
- EOS-1D シリーズの音声が録音されている画像には、［ ］が表示されます。
- 画像を取り込んだときに起動するソフトウェアを ZoomBrowser EX から、Digital Photo Professional に変更することができます。（p.1-10）ただし、「カードリーダーで画像を取り込む」（p.1-9）で画像を取り込んだときは、起動するソフトウェアは ZoomBrowser EX に限定されます。

PTP 機能で JPEG 画像を取り込む

EOS-1D シリーズ以外のカメラでの取り込み

EOS 5D、EOS 30D、EOS 20D、EOS 10D、EOS Kiss Digital N、EOS Kiss Digital での取り込み方法

Windows XP をご使用のときは、PTP（Picture Transfer Protocol）機能を使うことができます。カメラの［**通信設定**］を設定して PTP 機能を使用すると、EOS Utility を使用することなく、カメラ内のメモリーカードに保存されている JPEG 画像をパソコンに取り込むことができます。

- **この機能は、EOS 5D、EOS 30D、EOS 20D、EOS 10D、EOS Kiss Digital N、EOS Kiss Digital に対応しています。**

1 **カメラとパソコンが接続されていないことを確認し、カメラの電源スイッチを〈ON〉にする**

2 **カメラの［通信設定］を設定する**

- 「通信設定のあるカメラの設定をする」（p.1-2）と同様に、下記表を参照して［**通信設定**］を設定してください。

カメラ別［通信設定］

カメラ機種	メニュー	設定項目
EOS 5D	［通信設定］	［印刷／PTP］
EOS 30D	［通信設定］	［印刷／PC］
EOS 20D	［通信設定］	［PTP］
EOS 10D	［通信設定］	［PTP］
EOS Kiss Digital N	［2 通信設定］	［印刷／PTP］
EOS Kiss Digital	［2 通信設定］	［PTP］

3 **〈MENU〉ボタンを押して液晶モニターの表示を消し、カメラの電源スイッチを〈OFF〉にする**

4 **カメラとパソコンを接続し、カメラの電源スイッチを〈ON〉にする** （p.1-3）

→ 画像の取り込みに使用するソフトウェアを選ぶ画面が表示されます。

5 **［Microsoft スキャナとカメラのウィザード］を選び［OK］ボタンを押す**

→［スキャナとカメラ ウィザード］が表示されます。

6 **［スキャナとカメラ ウィザード］の表示内容にしたがって画像を取り込む**

- PTP 機能では RAW 画像は取り込めません。
- EOS 10D は、ファームウェアを Version 2.0.0 以上に変更する必要があります。変更については、弊社ホームページをご覧ください。

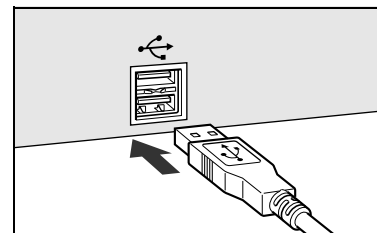
EOS-1D シリーズのカメラでの取り込み

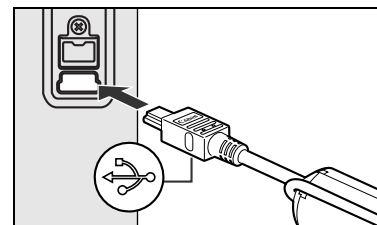
EOS-1D Mark II N、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II での取り込み方法

Windows XP をご使用のときは、付属の USB 用インターフェースケーブルをカメラのダイレクトプリント端子に接続すると、PTP（Picture Transfer Protocol）機能を使うことができます。PTP 機能を使用すると、EOS Utility を使用することなく、カメラ内のメモリーカードに保存されている JPEG 画像をパソコンに取り込むことができます。

- **この機能は、EOS-1D Mark II N、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II に対応しています。**

1 **専用ケーブルのプラグをパソコンに接続する**

- USB 接続部にプラグを差し込みます。
- 接続部の位置については、パソコンの使用説明書を参照してください。

2 **専用ケーブルのプラグをカメラに接続する**

- プラグの〈⇠〉マークがカメラの下面に向くようにして、プラグをカメラのダイレクトプリント端子に差し込みます。

3 **カメラの電源スイッチを〈ON〉にする**

→ 画像の取り込みに使用するソフトウェアを選ぶ画面が表示されます。

4 **［Microsoft スキャナとカメラのウィザード］を選び［OK］ボタンを押す**

→［スキャナとカメラ ウィザード］が表示されます。

5 **［スキャナとカメラ ウィザード］の表示内容にしたがって画像を取り込む**

- PTP 機能を使うときは、付属の USB 用インターフェースケーブルで接続します。
- PTP 機能では RAW 画像は取り込めません。

PTP 機能に関する注意

PTP 機能は Windows XP の仕様により、以下のような制限があります。撮影画像は、EOS Utility で取り込むことをおすすめします。(p.1-6)

- RAW 画像は取り込めません。(RAW 画像は表示されていても取り込むことはできません)
- カメラ内のメモリーカードに RAW 画像と JPEG 画像が混在していると、JPEG 画像が取り込めないことがあります。
- 取り込んだ画像の撮影情報が変更／削除されることがあります。
- カメラ内に大量の画像（1000 枚程度）があると取り込めません。
- カメラとパソコンを接続してから操作できるようになるまで、数分かかることがあります。
- 縦位置撮影した画像を取り込むと正位置（横位置）になったり、回転操作を行っても画像が回転しません。

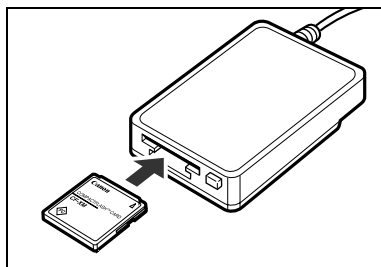
また、上記の制限事項の他にも OS のバージョン、ご使用のパソコン環境により、正しく画像が取り込めないこともあります。

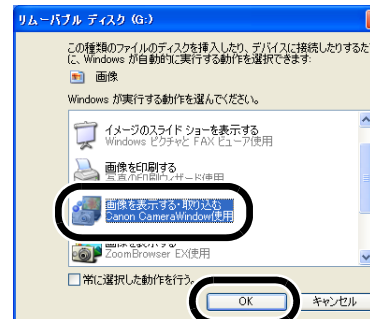
カードリーダーで画像を取り込む

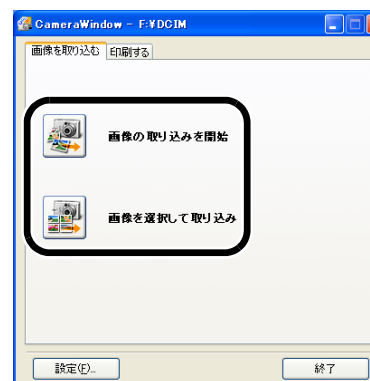
市販のカードリーダーをお持ちの方は、カードリーダーを使ってパソコンへ画像を取り込むこともできます。

1 メモリーカードをカードリーダーに差し込む

➜ 手順 2 の画面が表示されます。

● 手順 2 の画面が表示されないときは、［スタート］ボタン ▶ ［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）▶ ［Canon Utilities］▶ ［CameraWindow］▶ ［CameraWindowMC］▶ ［CameraWindow］を選んでください。

2 ［画像を表示する・取り込む　Canon CameraWindow 使用］を選んで［OK］ボタンを押す

➜ CameraWindow MC（カードリーダー用画像取り込みソフト）が起動します。

3 ［画像の取り込みを開始］ボタンまたは、［画像を選択して取り込み］ボタンを押す

● 以後の操作は、「すべての画像を一括して取り込む」(p.1-6)、「画像を選んで取り込む」(p.1-7) と同様の操作で画像を取り込むことができます。

● ご使用のカードリーダーによっては、画像を取り込めないことがあります。
● カードリーダーで画像を取り込んだときは、起動するソフトウェアは ZoomBrowser EX に限定されます。

● カードリーダーとパソコンの接続方法については、カードリーダーの使用説明書を参照してください。
● EOS Utility や CameraWindow などのキヤノン製ソフトウェアを使わずに、市販のカードリーダーなどでメモリーカードに保存されている画像をパソコンに取り込むときは、「フォルダ構造とファイル名について」(p.5-4) を参考にして、撮影画像の入ったフォルダをパソコンにコピーしてください。

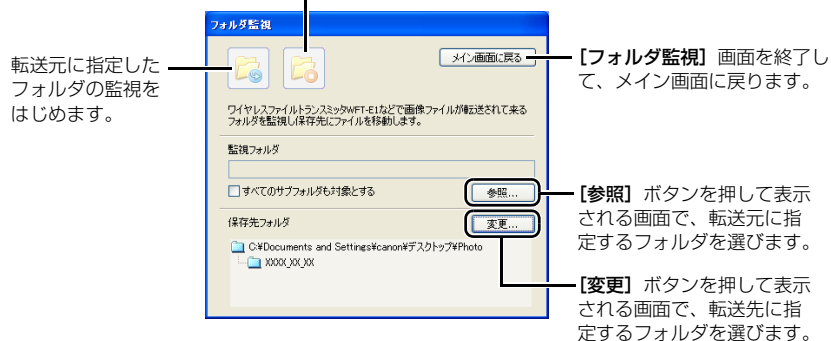
指定したフォルダの画像を転送する

転送元となるフォルダに画像を入れると、転送先のフォルダに画像が転送されて、Digital Photo Professional や ZoomBrowser EX に画像を表示することができます。
また、EOS 専用ワイヤレストランスミッター WFT-E1（別売）を使用したときは、撮影画像の保存先となるフォルダを指定することで、撮影した画像を Digital Photo Professional や ZoomBrowser EX でリアルタイムに確認することができます。

1 ［フォルダ監視］ボタンを押す

➜［フォルダ監視］画面が表示されます。

上記の画面は、EOS 30D を接続したときの表示例です。表示される画面内容は、接続するカメラ機種によって異なることがあります。

2 転送元のフォルダと、転送先のフォルダを設定する

3 ［ ］ボタンを押す

➜ 画像転送の準備ができました。

4 転送元のフォルダに画像を入れる

➜ 転送先のフォルダに画像が転送されて、ZoomBrowser EX が起動します。

転送元のフォルダと転送先のフォルダを同じにすることはできません。

画像が転送されたときに起動するソフトウェアを、下記の「環境設定」で ZoomBrowser EX から Digital Photo Professional に変更することができます。

環境設定

EOS Utility の各種設定を行うことができます。

1 メイン画面の［環境設定］ボタンを押す (p.1-6)

➜［環境設定］画面が表示されます。

2 各項目を設定して［OK］ボタンを押す

➜ 設定内容が EOS Utility に適用されます。

2 EOS-1D シリーズ以外のカメラを設定する

この章では、EOS 5D、EOS 30D、EOS 20D、EOS 10D、EOS Kiss Digital N、EOS Kiss Digital、EOS D60、EOS D30 に設定できる機能を説明します。

カメラとパソコンの接続方法や、EOS Utility の起動方法については、1 章を参照してください。(p.1-3)

● 表示したい項目をクリックすると、クリックしたページが表示されます。

基本設定

所有者名や日付／時刻などをカメラに設定することができます。

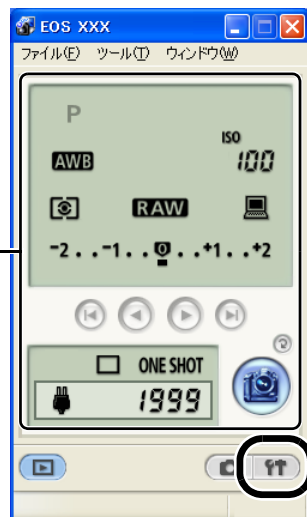
1 ［カメラの設定／リモート撮影］ボタンを押す

→ カメラ設定画面が表示されます。

上記の画面は、EOS 30D を接続したときの表示例です。表示される画面内容は、接続するカメラ機種によって異なることがあります。

2 ［ ］を押す

→ 基本設定画面が表示されます。

● 再度押すと基本設定画面が閉じます。

リモート撮影を行うことができます。リモート撮影については、4 章を参照してください。

3 設定項目を選んで設定する

→ 設定内容がカメラに適用されます。

● メイン画面に切り換えるときは、［ウィンドウ］メニュー▶［メイン画面］を選びます。
● ［ファイル］メニュー▶［終了］を選ぶと、カメラ設定画面を含む EOS Utility が終了します。
● 上記の画面は、EOS 30D を接続したときの表示例です。表示される画面内容は、接続するカメラ機種によって異なることがあります。

メモリーカードを初期化するとすべての記録内容が消去され、復元することができません。初期化を行うときは十分注意してください。

撮影設定

各種の撮影設定をカメラに適用することができます。

1 **［カメラの設定／リモート撮影］ボタンを押す**

➜ カメラ設定画面が表示されます。

2 **［ 📷 ］を押す**

➜ 撮影設定画面が表示されます。

● 再度押すと撮影設定画面が閉じます。

3 **設定項目を選んで設定する** （p.2-3 ～ p.2-5）

➜ 設定内容がカメラに適用されます。

● メイン画面に切り換えるときは、［ウィンドウ］メニュー ▶［メイン画面］を選びます。

● ［ファイル］メニュー ▶［終了］を選ぶと、カメラ設定画面を含む EOS Utility が終了します。

● 上記の画面は、EOS 30D を接続したときの表示例です。表示される画面内容は、接続するカメラ機種によって異なることがあります。

ピクチャースタイル

ピクチャースタイルを選んでカメラに設定したり、弊社ホームページからダウンロードしてパソコンに保存したピクチャースタイルファイルを、ユーザー設定としてカメラに登録することができます。

● **この機能は、EOS 5D、EOS 30D に対応しています。**

ピクチャースタイルを選ぶ

1 **［ピクチャースタイル］をクリックする**

➜ ［ピクチャースタイル］画面が表示されます。

2 **カメラに設定するピクチャースタイルをクリックする**

➜ 設定内容がカメラに適用され、撮影設定画面に戻ります。

詳細設定

1 ［ピクチャースタイル］をクリックする

→ ［ピクチャースタイル］画面が表示されます。

2 ［設定］をクリックする

→ ［ピクチャースタイル設定］画面が表示されます。

3 各項目を設定する

- ユーザー設定は、3 つまでカメラに登録することができます。
- ［ピクチャースタイル］リストボックスで［モノクロ］を選んだときは、［フィルター効果］、［調色］のリストボックスが表示されます。
- カメラに登録したピクチャースタイルを使用する方法については、付属のカメラ使用説明書「ピクチャースタイルを登録する」を参照してください。

4 ［登録］ボタンを押す

→ ［設定の確認］画面が表示されます。

5 設定内容を確認し［OK］ボタンを押す

→ 設定内容がカメラに登録されます。

6 ［閉じる］ボタンを押す

→ ［ピクチャースタイル設定］画面が閉じます。

7 設定したユーザー設定を選ぶ

- 「ピクチャースタイルを選ぶ」(p.2-3) の手順で、設定したピクチャースタイルを選びます。

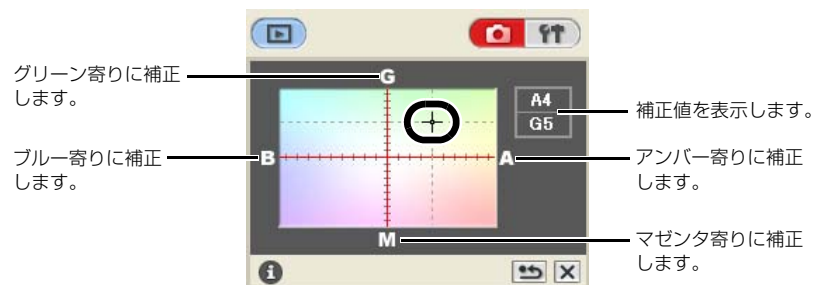
→ 設定内容がカメラに適用され、撮影設定画面に戻ります。

ピクチャースタイルファイルとは、ピクチャースタイル機能を拡充するためのファイルです。ピクチャースタイルファイルの詳しい内容については、弊社ホームページを参照してください。

表紙／目次
はじめに
1 カメラから画像を取り込む
2 EOS-1D シリーズ以外のカメラを設定する
3 EOS-1D シリーズのカメラを設定する
4 リモート撮影をする
こんなときは
索 引

ホワイトバランス補正

ホワイトバランスを補正してカメラに設定することができます。

- **この機能は、EOS 5D、EOS 30D、EOS 20D、EOS Kiss Digital N に対応しています。**

1 ［WB 補正］をクリックする

→ ホワイトバランス補正画面が表示されます。

2 補正位置をクリックする

→ 設定内容がカメラに適用されます。

3 ［ ］を押す

→ 撮影設定画面に戻ります。

- 補正値を元の値に戻すときは、手順 2 の操作で戻してください。

3 EOS-1D シリーズのカメラを設定する

この章では、EOS-1D Mark II N、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II、EOS-1Ds、EOS-1D に設定できる機能を説明します。

カメラとパソコンの接続方法や、EOS Utility の起動方法については、1 章を参照してください。（p.1-4）

● 表示したい項目をクリックすると、クリックしたページが表示されます。

基本設定

所有者名や日付／時刻などをカメラに設定することができます。

1 ［カメラの設定／リモート撮影］ボタンを押す

→ カメラ設定画面が表示されます。

上記の画面は、EOS-1D Mark II N を接続したときの表示例です。表示される画面内容は、接続するカメラ機種によって異なることがあります。

2 ［ ］を押す

→ 基本設定画面が表示されます。

- 再度押すと基本設定画面が閉じます。

リモート撮影を行うことができます。リモート撮影については、4 章を参照してください。

3 設定項目を選んで設定する

→ 設定内容がカメラに適用されます。

- メイン画面に切り換えるときは、［ウィンドウ］メニュー▶［メイン画面］を選びます。
- ［ファイル］メニュー▶［終了］を選ぶと、カメラ設定画面を含む EOS Utility が終了します。
- 上記の画面は、EOS-1D Mark II N を接続したときの表示例です。表示される画面内容は、接続するカメラ機種によって異なることがあります。

EOS-1Ds、EOS-1D では［カードの初期化］項目が表示され、メモリーカードの初期化を行うことができます。メモリーカードを初期化するとすべての記録内容が消去され、復元することができません。初期化を行うときは十分注意してください。

撮影設定

各種の撮影設定をカメラに適用することができます。

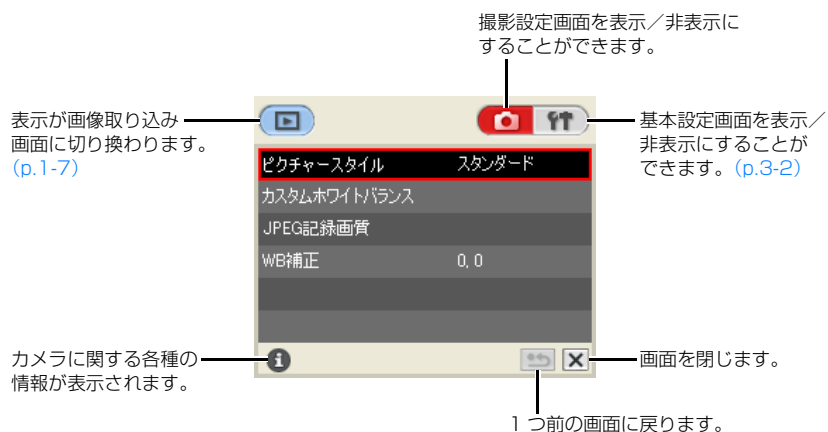
1 [カメラの設定／リモート撮影] ボタンを押す

➜ カメラ設定画面が表示されます。

2 [📷] を押す

➜ 撮影設定画面が表示されます。
- 再度押すと撮影設定画面が閉じます。

3 設定項目を選んで設定する (p.3-3 ～ p.3-8)

➜ 設定内容がカメラに適用されます。

- メイン画面に切り換えるときは、**[ウィンドウ]** メニュー ▶ **[メイン画面]** を選びます。
- **[ファイル]** メニュー ▶ **[終了]** を選ぶと、カメラ設定画面を含む EOS Utility が終了します。
- 上記の画面は、EOS-1D Mark II N を接続したときの表示例です。表示される画面内容は、接続するカメラ機種によって異なることがあります。

ピクチャースタイル

ピクチャースタイルを選んでカメラに設定したり、弊社ホームページからダウンロードしてパソコンに保存したピクチャースタイルファイルを、ユーザー設定としてカメラに登録することができます。

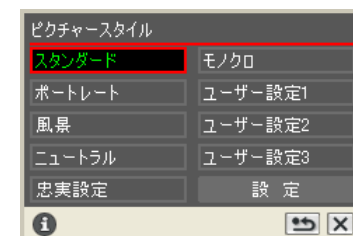
- **この機能は、EOS-1D Mark II N に対応しています。**

ピクチャースタイルを選ぶ

1 [ピクチャースタイル] をクリックする

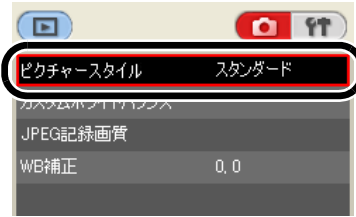
➜ [ピクチャースタイル] 画面が表示されます。

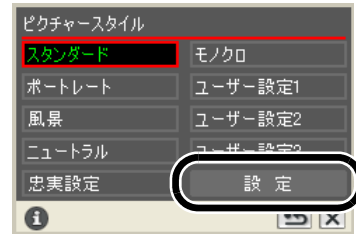
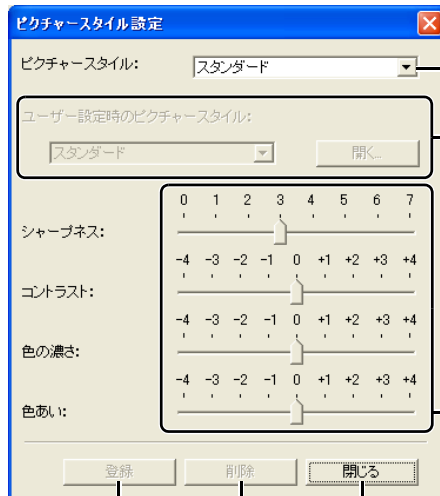
2 カメラに設定するピクチャースタイルをクリックする

➜ 設定内容がカメラに適用され、撮影設定画面に戻ります。

表紙／目次
はじめに
1 カメラから画像を取り込む
2 EOS-1D シリーズ以外のカメラを設定する
3 EOS-1D シリーズのカメラを設定する
4 リモート撮影をする
こんなときは
索　引

詳細設定

1 **［ピクチャースタイル］をクリックする**

➜［ピクチャースタイル］画面が表示されます。

2 **［設定］をクリックする**

➜［ピクチャースタイル設定］画面が表示されます。

3 **各項目を設定する**

設定するピクチャースタイルを選びます。

［ピクチャースタイル］リストボックスで［ユーザー設定 1］～［ユーザー設定 3］を選んだときは、［開く］ボタンを押して、パソコンに保存されているピクチャースタイルファイルを読み込んだり、基本となるピクチャースタイルをリストボックスから選ぶことができます。

各項目のスライダーを左右にドラッグして設定します。

設定内容をカメラに適用します。

選んだピクチャースタイルをカメラから削除します。

設定内容をすべて取り消して画面を閉じます。

- ユーザー設定は、3 つまでカメラに登録することができます。
- ［ピクチャースタイル］リストボックスで［モノクロ］を選んだときは、［フィルター効果］、［調色］のリストボックスが表示されます。
- カメラに登録したピクチャースタイルを使用する方法については、付属のカメラ使用説明書「ピクチャースタイルを登録する」を参照してください。

4 **［登録］ボタンを押す**

➜［設定の確認］画面が表示されます。

5 **設定内容を確認し［OK］ボタンを押す**

➜ 設定内容がカメラに登録されます。

6 **［閉じる］ボタンを押す**

➜［ピクチャースタイル設定］画面が閉じます。

7 **設定したユーザー設定を選ぶ**

- 「ピクチャースタイルを選ぶ」（p.3-3）の手順で、設定したピクチャースタイルを選びます。

➜ 設定内容がカメラに適用され、撮影設定画面に戻ります。

ピクチャースタイルファイルとは、ピクチャースタイル機能を拡充するためのファイルです。ピクチャースタイルファイルの詳しい内容については、弊社ホームページを参照してください。

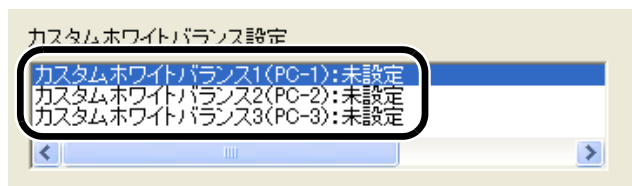
カスタムホワイトバランス設定

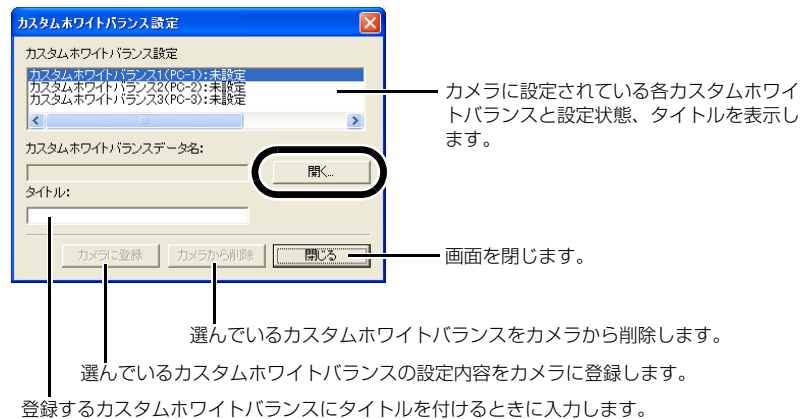
RAW Image Task で保存したホワイトバランスファイルを、カスタムホワイトバランスとして３つまでカメラに登録することができます。

- **この機能は、すべての EOS-1D シリーズのカメラに対応しています。**
- RAW Image Task でホワイトバランスファイルを保存する方法については、ZoomBrowser EX 使用説明書の「RAW 画像を現像する」を参照してください。
- カスタムホワイトバランスをカメラに適用すると、カメラの背面表示パネルに〈PC-1～PC-3〉が表示されます。
- カスタムホワイトバランスのカメラへの設定方法については、カメラに付属のカメラ使用説明書「ホワイトバランスの選択」を参照してください。

1 ［カスタムホワイトバランス］をクリックする

→［カスタムホワイトバランス設定］画面が表示されます。

2 登録するカスタムホワイトバランスを選ぶ

3 ［開く］ボタンを押す

→［ファイルを開く］画面が表示されます。

4 ホワイトバランスファイルの保存先を開き、ファイルを選んで［開く］ボタンを押す

→ホワイトバランスファイルが読み込まれます。

5 ［タイトル］入力ボックスにタイトルを入力する

6 ［カメラに登録］ボタンを押す

→カスタムホワイトバランスがカメラに登録されます。

- 引き続き登録するときは、手順２～６の操作をくり返してください。PC-1、PC-2、PC-3 の３セットまで登録できます。

7 ［閉じる］ボタンを押す

→［カスタムホワイトバランス設定］画面が閉じ、撮影設定画面に戻ります。

表紙／目次
はじめに
1 カメラから画像を取り込む
2 EOS-1D シリーズ以外のカメラを設定する

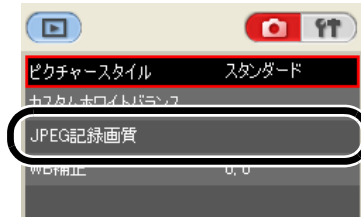
3 EOS-1D シリーズのカメラを設定する
4 リモート撮影をする
こんなときは
索　引

JPEG 記録画質設定

JPEG 画像の記録画質を設定し、カメラに登録することができます。

- **この機能は、EOS-1D Mark II N、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II に対応しています。**

1 [JPEG 記録画質] をクリックする

→ [JPEG 記録画質] 画面が表示されます。

2 設定位置をクリックする

→ 設定内容がカメラに適用されます。
- 各サイズとも、数値が大きくなるほど圧縮率が低く、高画質になります。

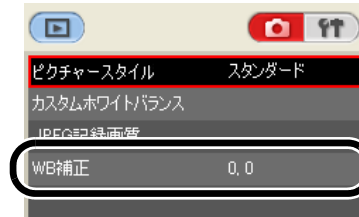
3 [ ] を押す

→ 撮影設定画面に戻ります。

ホワイトバランス補正

ホワイトバランスを補正してカメラに設定することができます。

- **この機能は、EOS-1D Mark II N、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II に対応しています。**

1 [WB 補正] をクリックする

→ ホワイトバランス補正画面が表示されます。

2 補正位置をクリックする

→ 設定内容がカメラに適用されます。

3 [ ] を押す

→ 撮影設定画面に戻ります。
- 補正値を元の値に戻すときは、手順 2 の操作で戻してください。

表紙／目次

はじめに

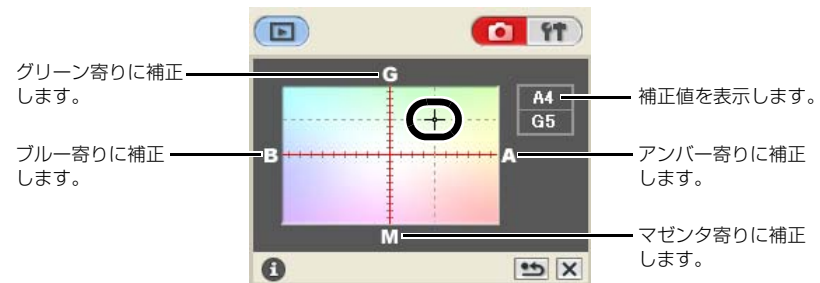
1 カメラから画像を取り込む

2 EOS-1D シリーズ以外のカメラを設定する

3 EOS-1D シリーズのカメラを設定する

4 リモート撮影をする

こんなときは

索 引

現像パラメーター設定

シャープネス、コントラストの設定や、RAW Image Task で保存したトーンカーブファイルを読み込んで、現像パラメーターとして 3 つまでカメラに登録することができます。

- **この機能は、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II、EOS-1Ds、EOS-1D に対応しています。**
- RAW Image Task でトーンカーブファイルを保存する方法については、ZoomBrowser EX 使用説明書の「RAW 画像を現像する」を参照してください。
- 現像パラメーターのカメラへの設定方法については、カメラに付属のカメラ使用説明書「現像パラメーターを設定する」を参照してください。

1 ［現像パラメーター］をクリックする

→ ［現像パラメーター設定］画面が表示されます。

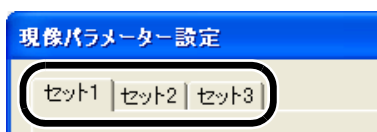
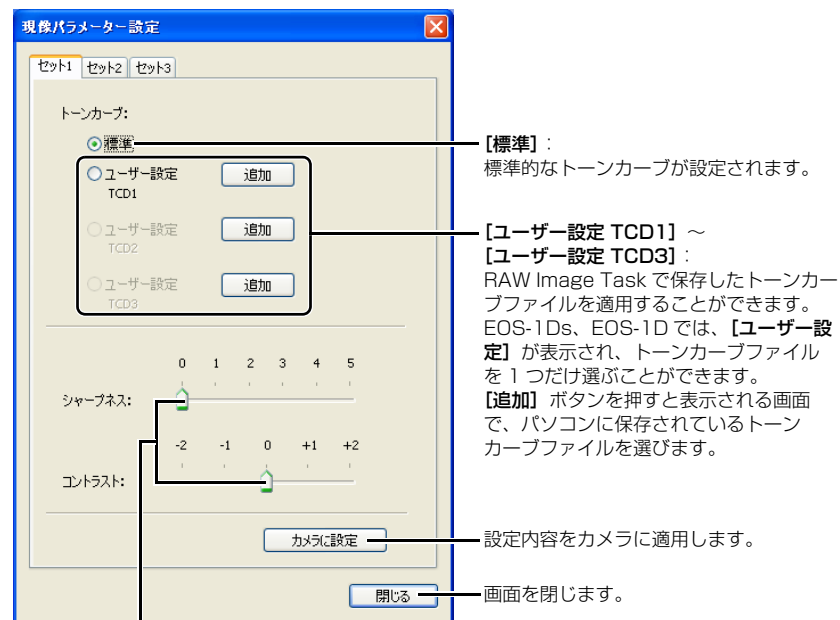
2 設定するタブを選ぶ

3 各項目を設定する

［標準］：
標準的なトーンカーブが設定されます。

［ユーザー設定 TCD1］～［ユーザー設定 TCD3］：
RAW Image Task で保存したトーンカーブファイルを適用することができます。EOS-1Ds、EOS-1D では、［ユーザー設定］が表示され、トーンカーブファイルを 1 つだけ選ぶことができます。
［追加］ボタンを押すと表示される画面で、パソコンに保存されているトーンカーブファイルを選びます。

設定内容をカメラに適用します。

画面を閉じます。

スライダーを左右にドラッグして設定します。
EOS-1Ds、EOS-1D では［シャープネス］、［JPEG 画質］が表示され、リストボックスから設定する項目を選びます。

4 ［カメラに設定］ボタンを押す

→ ［設定の確認］画面が表示されます。

5 設定内容を確認し、［OK］ボタンを押す

→ 現像パラメーターがカメラに登録されます。

6 ［閉じる］ボタンを押す

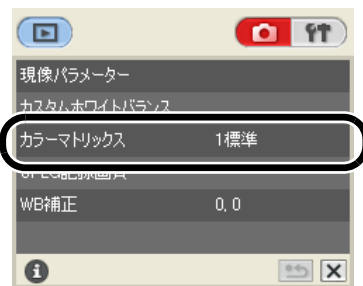
→ ［現像パラメーター設定］画面が閉じ、撮影設定画面に戻ります。

カラーマトリックス設定

カラーマトリックスを設定することができます。また、色空間、色の濃さ、色あいを任意に設定したカラーマトリックスを［6CM セット 1］、［7CM セット 2］としてカメラに 2 つまで登録することができます。

- **この機能は、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II に対応しています。**
- カラーマトリックスのカメラへの設定方法については、カメラに付属のカメラ使用説明書「カラーマトリックスを選択する」を参照してください。

1 ［カラーマトリックス］をクリックする

→ ［カラーマトリックス］画面が表示されます。

2 カメラに設定するカラーマトリックスをクリックする

→ 設定内容がカメラに適用され、撮影設定画面に戻ります。

- ［6CM セット 1］、［7CM セット 2］の色空間、色の濃さ、色あいは、**［設定］**ボタンを押すと表示される**［カラーマトリックス設定］**画面で設定を行います。

［カラーマトリックス設定］画面の**［色空間］**、**［色の濃さ］**、**［色あい］**が任意に設定できるのは、**［カラーマトリックス］**リストボックスで**［6CM セット 1］**、**［7CM セット 2］**を選んだときのみです。

パーソナル機能設定

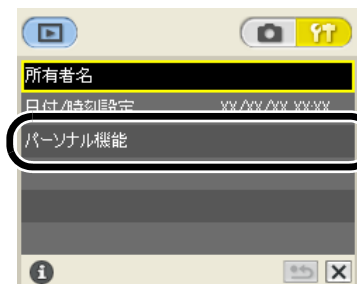
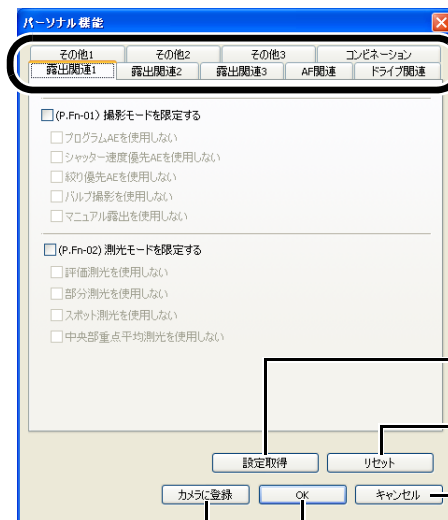
カメラの各種機能を詳細に設定し、カメラに適用することができます。また、設定内容はパソコンへ保存したり、読み込むことができます。

- **この機能は、すべての EOS-1D シリーズのカメラに対応しています。**

1 ［ ］を押す

→ 基本設定画面が表示されます。

2 ［パーソナル機能］をクリックする

→ ［パーソナル機能］画面が表示されます。

3 設定するタブを選ぶ

→ 選んだ設定画面が表示されます。

- **［コンビネーション］**タブ画面では、設定したパーソナル機能の内容や、カメラへの適用状態を確認したり、パーソナル機能の保存／読み込みを行うことができます。(p.3-14)

表紙／目次
はじめに
1 カメラから画像を取り込む
2 EOS-1D シリーズ以外のカメラを設定する

3 EOS-1D シリーズのカメラを設定する
4 リモート撮影をする
こんなときは
索 引

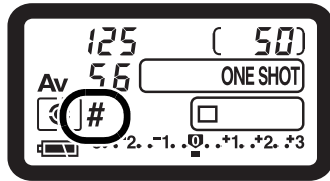
4 [□] をチェックして必要な設定をする (p.3-9 ～ p.3-14)

☑ (P.Fn-01) 撮影モードを限定する
□ プログラムAEを使用しない
□ シャッター速度優先AEを使用しない
□ 絞り優先AEを使用しない
□ マニュアル露出を使用しない
□ バルブ撮影を使用しない

- 数値入力のときは、設定範囲を超えた数値の入力は無効になります。

5 設定内容を確認し、必要に応じてパソコンに保存する (p.3-14、p.3-15)

6 [OK] ボタンを押す

→ 設定内容がカメラに適用され、**[パーソナル設定]** 画面が閉じ、基本設定画面に戻ります。
→ パーソナル機能がカメラに適用されると、表示パネルに〈#〉が表示されます。

パーソナル機能で設定できる内容

- 本文中の C.Fn には、それぞれの機能に関するカスタム機能の簡単なガイドが書かれています。詳細については、付属のカメラ使用説明書「カスタム機能で変更できる内容」を参照してください。

P.Fn-01 撮影モードを限定する

- 使用しない撮影モードをチェックします。
- 撮影モードを選ぶときに、使用しない撮影モードをスキップさせることができます。
- 撮影モードを選ぶときの機動性が向上します。
- **EOS-1Ds、EOS-1D では、[深度優先 AE を使用しない] の項目も表示されます。**

> 全項目のチェックはできません。

P.Fn-02 測光モードを限定する

- 使用しない測光モードをチェックします。
- 測光モードを選ぶときに、使用しない測光モードをスキップさせることができます。
- 測光モードを選ぶときの機動性が向上します。

> 全項目のチェックはできません。

P.Fn-03 マニュアル露出撮影時の測光モードを指定する

- 設定する測光モードを選びます。
- マニュアル露出撮影時の測光モードを選ぶことができます。
- マニュアル露出モードを選ぶと、選んだ測光モードに自動的に切り換わります。AE 撮影とマニュアル露出撮影で測光モードを使い分けるときに有効です。

P.Fn-04 シャッター速度の上限、下限値を設定する

- リストボックスから上限・下限値を選びます。
  例）上限値：1/2000、下限値：1/60 を選ぶと、1/2000 〜 1/60 秒が制御・設定可能範囲となります。
- シャッター速度を選ぶときの機動性を向上させたいときや、ストロボ使用時の絞り優先 AE でスローシンクロにしたくないときに有効です。

!
- 上限、下限値に 1/750 秒など、1 段ステップ以外の数値を選ぶと、制御・設定可能範囲が、設定値よりもわずかにずれることがあります。また、カスタム機能 C.Fn-6-1、2 併用時に 1/3200 秒など、1 段ステップ以外の数値を選んだときにも制御・設定可能範囲が設定値よりもわずかにずれることがあります。
- プログラム AE 撮影時のストロボ同調シャッター速度を確保するため、EOS-1D Mark II N、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II、EOS-1Ds は 1/200 〜 1/80 秒、EOS-1D は 1/400 〜 1/80 秒の範囲を選ぶことはできません。
- セイフティシフト（C.Fn-16）設定時は、セイフティシフトを優先します。

P.Fn-05 絞り数値の上限、下限値を設定する

- リストボックスから上限・下限値を選びます。
  例）下限値：1.4、上限値：8.0 を選ぶと、F1.4 〜 8.0 が制御・設定可能範囲となります。
- 選べる絞り数値範囲を限定して、絞り数値を選ぶときの機動性を向上させることができます。

!
- 下限値は、上限値よりも小さい値にしてください。下限値に上限値よりも大きい数値を選んだときは、警告メッセージが表示され、元の数値に戻ります。
- 上限、下限値に F4.5 など、1 段ステップ以外の数値を選ぶと、制御・設定可能範囲が、設定値よりもわずかにずれることがあります。また、カスタム機能 C.Fn-6-1、2 併用時に F6.3 など、1 段ステップ以外の数値を選んだときにも制御・設定可能範囲が設定値よりもわずかにずれることがあります。
- 下限値より暗いレンズを使用したときは、使用レンズの開放絞り数値が下限値となります。また、上限値より暗いレンズを使用したときは、使用レンズの開放 F 値で絞り数値が固定されます。
- セイフティシフト（C.Fn-16）設定時は、セイフティシフトを優先します。

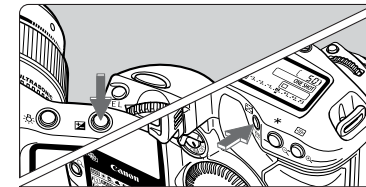
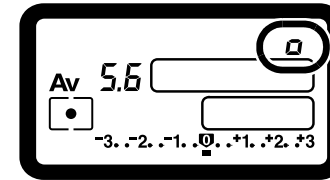
P.Fn-06 撮影モードと測光モードの登録・切り換え

- 〈⊡〉ボタンを押している間だけ、登録した撮影モードと設定値（絞り優先 AE であれば絞り数値）、測光モード、露出補正量に切り換えることができます。
- 設定値は、各撮影モードに対応した数値を選びます。
- 登録操作は、カメラ側で行います。
- 順・逆光などに応じて、所定の撮影条件へ瞬時に切り換えたいときに有効です。

P.Fn-06 カメラ側での登録操作

1 撮影モードと設定値（絞り優先 AE であれば絞り数値）、測光モード、露出補正量を設定する

2 設定した内容を登録する

- 先に〈⊠〉ボタンを押して、次に〈⊡〉ボタンを押します。

→ 上面表示パネルに〈◘〉が表示され、登録が完了します。
- 設定の変更は、何度でも可能です。

!
- 登録操作は、先に〈⊠〉ボタンを押してから〈⊡〉ボタンを押してください。〈⊡〉ボタンを先に押すと、登録済みの設定に切り換わります。
- バルブ撮影は登録できません。
- 連続撮影中の切り換えはできません。

- P.Fn-03「マニュアル露出時の測光モードを指定する」併用時に、この P.Fn-06 でマニュアル露出を選んで、P.Fn-03 と異なる測光モードを登録したときは、〈⊡〉ボタンを押すと P.Fn-03 で選んだ測光モードに切り換わります。
- P.Fn-04、05 併用時は、その設定可能範囲内でシャッター速度や絞り数値を選んでください。
- 設定したい撮影モードと測光モードが P.Fn-01、02 で除外されているときは、一度、そのパーソナル機能を解除します。パーソナル機能の解除と再設定については、付属のカメラ使用説明書「パーソナル機能の解除と再設定」を参照してください。
- P.Fn-06 で設定した撮影モードと測光モードが、P.Fn-01、02 で除外されていても、P.Fn-06 では有効となります。

C.Fn
- C.Fn-4-1、3 設定時は、〈⊡〉ボタン ON で切り換えと同時に AF/AE も作動します。
- C.Fn-18 設定時には、P.Fn-06 は機能しません。

P.Fn-07 連続撮影時、ブラケティング撮影を繰り返し行う

- シャッターボタンを押しつづけている間、設定したドライブモードでブラケティング連続撮影を繰り返し行います。
- 連続ブラケティング撮影を行いたいときに有効です。

P.Fn-08 ブラケティング撮影時の撮影枚数

- リストボックスで撮影枚数を選びます。
- 通常 3 枚のブラケティング撮影が、2、3、5、7 枚のブラケティング撮影となります。
- ブラケティング撮影では、ステップ量を 1 段に設定して、5 枚を選ぶと、－ 2、－ 1、標準、+1、+2 段で撮影します。
- ブラケティングの幅を調整したいときに有効です。

- ブラケティングレベルの表示範囲を超える設定をしても、露出補正は設定どおりに行われます。
- C.Fn-09-2、3 や、P.Fn-09 との併用もできます。

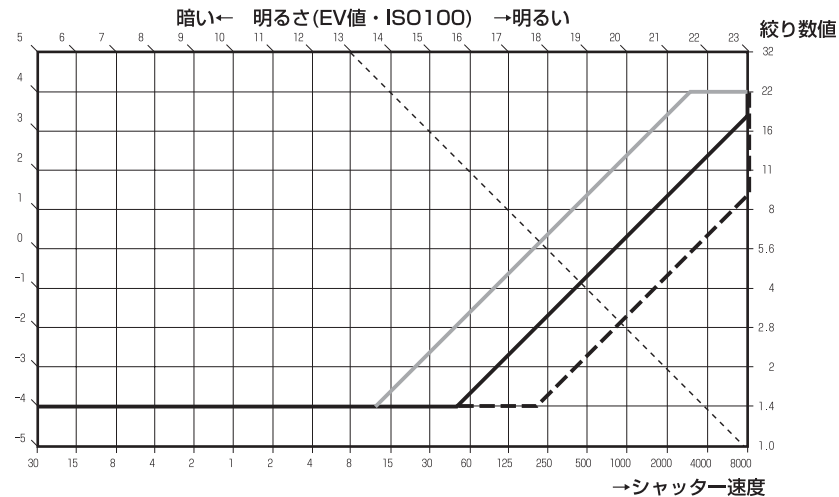
P.Fn-09 C.Fn-09-2、3 のブラケティング撮影順をプラス補正→標準→マイナス補正の順に行う

- C.Fn-09-2、3 設定時のマイナス補正→標準→プラス補正のブラケティング撮影順が、プラス補正→標準→マイナス補正の順番になります。
- プラス補正からのブラケティング撮影スタートを希望するときに有効です。

P.Fn-08 との併用もできます。

P.Fn-10 プログラムシフトのシフト量を保持する

- 通常、撮影後に解除されるプログラムシフトのシフト量を保持させることができます。
- 標準プログラムラインをシフトさせて、シャッター速度優先寄りや、絞り優先寄りに変えたいときに有効です。

プログラムシフトを行うと、露出を変えずにシャッター速度と絞り数値の組み合わせを変更することができます。同じ明るさであっても、プログラムラインを右にシフトさせると、シャッター速度：高速、絞り数値：開放寄りに変更することができます。逆にプログラムラインを左にシフトさせるとシャッター速度：低速、絞り数値：絞り込み寄りに変更することができます。
P.Fn-10 では、このプログラムシフトした量を保持します。シャッター速度と絞り数値の優先度に応じて、シフト量を選んでください。

EF50mm F1.4 USM 使用時

- 手動でプログラムシフト量を戻すか、バッテリー交換または、〈CLEAR〉ボタンを押すまで保持します。
- レンズ交換を行ってもシフト量は保持されます。

P.Fn-13 AI サーボ AF 連続撮影を撮影速度優先で行う

- **この機能は、EOS-1D にのみ対応しています。**
- ピントが合っていなくても、撮影速度を優先して撮影を行います。
- 多少のピンボケよりも「写っていることの方が重要」というときに有効です。

P.Fn-14 レンズ駆動によるピント検出（サーチ駆動）を行わない

- シャッターボタン半押しでピント検出できないとき、通常はレンズ駆動を行ってピント検出しますが、これを禁止します。
- 合焦後の再測距でピント検出できなかったときに大ボケ状態になることを防止できます。特に大ボケ状態になりやすい、超望遠レンズ使用時に有効です。

極端なピンボケ状態から AF を行うと、レンズが動かないときがあります。被写体の輪郭がつかめる程度まで手動でピント合わせをしてから AF を行ってください。

P.Fn-15 AF 補助光の投光を禁止する

- ストロボに内蔵された AF 補助光の投光を禁止します。
- 撮影会などで AF 補助光パターンが他のカメラに写り込むことを防止できます。

P.Fn-16 ピント固定・シャッターボタン全押し状態で合焦したら自動撮影する

- ピントを固定した距離で合焦すると、自動的に撮影します。合焦検出は、選んだ AF フレームで行います。
- レンズのフォーカスモードスイッチを〈MF〉に設定し、手動ピント合わせで撮影距離を設定します。
- シャッターボタンは、全押し状態にしておきます。
- リモートスイッチ RS-80N3 などのレリーズボタン・ロック機能を使用すると、無人の自動待ち受け撮影が可能となります。

- シャッターボタン全押し状態で待機するため、バッテリーの消耗が早くなります。長時間の撮影では、付属の DC カプラーキットを使用してください。
- ストロボ併用時は、フル充電状態で待機するため、ストロボの電池消耗が早くなります（ストロボの SE 機能は働きません）。
- ストロボ併用時は、ドライブモードを 1 枚撮影にしてください。連続撮影では、充電が間に合わないと未充電状態で撮影を続けます。
- ドライブモードで連続撮影を選んでいるときは、P.Fn-20 で撮影枚数を設定してください。設定していないと、1 回の合焦でメモリーカードの容量がなくなるまで連続撮影します。
- マニュアルフォーカス専用レンズ、および開放絞り数値が暗いために AF 作動ができないレンズでは、自動撮影できません。
- C.Fn-4-1、3 を設定すると、ピントに関係なく撮影しますので、併用しないでください。

シャッターボタン全押し状態を維持できる、リモートスイッチ RS-80N3 などの併用をおすすめします。

P.Fn-17 AF フレーム自動選択を選べないようにする

- 任意選択 AF フレームが外周まで移動すると、突き当たりで止まるため、外周 AF フレームを選ぶときの操作性が向上します。

- C.Fn-11-2 設定時、AF 作動中に〈〉ボタンを押すと、AF フレーム自動選択へ切り換えが可能になります。詳しくは、カメラに付属のカメラ使用説明書「AF フレームの選択」を参照してください。
- 「AF フレームの登録」で自動選択を登録しているときは、登録内容が有効となります。詳しくは、カメラに付属のカメラ使用説明書「AF フレームの登録と切り換え」を参照してください。

P.Fn-18 C.Fn-11-2 設定時に AF フレーム自動選択を可能にする

- C.Fn-11-2 設定時に AF フレーム自動選択を含んだ、標準状態の横方向選択ができるようになります。
- C.Fn-11-2 設定時にも AF フレーム自動選択を行いたいときに有効です。

P.Fn-17「AF フレーム自動選択を選べないようにする」を同時に設定したときは、P.Fn-17 が優先され、自動選択はできなくなります。

P.Fn-19 連続撮影の速度を設定する

- リストボックスで連続撮影時の連続撮影速度を選びます。
- 低速にして AI サーボ AF 連続撮影をさらに安定化させたいときなどに有効です。
- **EOS-1Ds Mark II、EOS-1Ds では、［連続撮影］の項目のみ表示されます。**

AI サーボ AF では、選んだ連続撮影速度に満たないときがあります。

P.Fn-20 連続撮影時の撮影枚数を制限する

- 連続撮影時に、シャッターボタン全押し状態で最高何枚まで連続撮影するか入力します。
- 余分なシーンまで連続撮影したくないときに有効です。

P.Fn-21 撮影後、シャッターボタン OFF で静粛動作する

- ドライブモード 1 枚撮影時に、シャッターボタン全押しから半押し状態に戻すと静粛動作を行います。
- 撮影後の動作音が周囲の雰囲気上、好ましくないときに有効です。

連続撮影時には、通常の動作となります。

C.Fn C.Fn-12 のミラーアップ撮影を併用すると、露光する際の作動音をさらに小さくすることができます。

P.Fn-23 各種タイマー保持時間（〈6 秒〉〈16 秒〉など）を変更する

- ボタンから指を離してもその機能を何秒間か保持する機能がありますが、その保持時間を設定することができます。
- 設定できる時間は、各タイマーとも 0 ～ 3600 秒（1 時間）です。
- 標準のタイマー保持時間は長すぎる、または短すぎるというときに有効です。

6 秒タイマー保持時間	● シャッターボタン半押しと〈✱〉ボタンを押したときの測光値・保持時間。
16 秒タイマー保持時間	● 〈FEL〉ボタンを押したときの測光値・保持時間。
2 秒タイマー保持時間（レリーズ後タイマー）	● 撮影後の露出値保持時間。時間を長くすると、同じ露出値での AE ロック撮影を行いやすくなります。 ● 撮影後の表示パネル照明時間。

タイマー保持時間を長くするとバッテリーの消耗が早くなり、撮影可能枚数が減少します。

タイマー保持を中断したいときは、〈MODE〉／〈AF〉／〈⊡⚡〉ボタンのいずれかを押してください。

P.Fn-24 バルブ撮影中、表示パネルの照明を消さない

- バルブ撮影開始後に表示パネル照明ボタンを押すと、露光完了まで照明を続けます。
- 露光経過時間を確認しながらバルブ撮影したいときに有効です。

長時間バルブ撮影を行うとバッテリーの消耗が早くなり、撮影可能枚数が減少します。

P.Fn-25 〈CLEAR〉ボタン ON 時の初期状態を変更する

- 〈CLEAR〉ボタンを押したときの初期状態を選ぶことができます。
- 使用頻度の高い撮影状態へ瞬時に切り換えたいときに有効です。

P.Fn-26 レリーズタイムラグを最速化する

- **この機能は、EOS-1D Mark II N、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II に対応しています。**
- 通常は、レリーズタイムラグを安定化する制御を行っていますが、この制御を行わないようにします。これにより、絞り数値が、開放から 3 段未満の撮影において、レリーズタイムラグが通常のときに比べて最高で約 20% 速くなります。
- レリーズタイムラグの安定化よりも、短縮化を優先したいときに有効です。

10 ミリセコンド単位の差なので、設定しても体感できない可能性があります。

P.Fn-27 電子ダイヤルの設定方向（回転）を反転する

- 電子ダイヤル操作の設定方向が反転します。AF フレームの選択方向、シャッター速度、絞り数値も設定方向が反転します。
- 電子ダイヤル回転方向に対する入力結果の変化方向が、感覚的に一致しないときに有効です。

メイン電子ダイヤルの設定方向を反転させても、AF フレーム選択の横方向選択だけは逆転しません。

P.Fn-28 サブ電子ダイヤルによる露出補正を禁止する

- サブ電子ダイヤル操作による露出補正を禁止します。
- AF フレームを選ぶときに誤って露出補正してしまうことを防止できます。

P.Fn-30 サブ電子ダイヤルスイッチをメイン電子ダイヤルにも有効にする

- **この機能は、EOS-1D Mark II N、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II に対応しています。**
- サブ電子ダイヤルスイッチを「OFF」にすると、メイン電子ダイヤルとサブ電子ダイヤルの両方が機能しなくなります。

P.Fn-30 拡大表示モード

- **この機能は、EOS-1Ds にのみ対応しています。**
- どの場所から拡大表示するかを選びます。
- カメラでこの機能を［ON］にして撮影すると、画像を拡大して見ることができます。
- カメラの詳しい操作方法については、EOS-1Ds 使用説明書「P.Fn-30 撮影画像を拡大して見る」を参照してください。

> - 拡大表示するには、撮影時、再生時とも P.Fn-30 を［ON］にしてください。撮影時に P.Fn-30 が［ON］になっていない画像は、拡大表示できません。
> - EOS-1Ds 以外で撮影した画像は、拡大表示できません。

P.Fn-31 オリジナル画像判定用データを付加

- **この機能は、EOS-1D Mark II N、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II、EOS-1Ds に対応しています。**
- 撮影画像に、その画像がオリジナルであるか否かを判定するためのデータを付加します。オリジナル画像判定用データが付加された画像には、カメラの画像表示形式を「撮影情報表示（INFO.）」にしたときに、オリジナル画像判定用データが付加されたことを示す［🔒］が表示されます。
  詳しくは、カメラ使用説明書の「撮影情報表示について」のページを参照してください。
- オリジナル画像の判定には、EOS 専用オリジナルデータ確認キット DVK-E2（別売）が必要です。

> RAW 画像から変換した JPEG 画像、TIFF 画像には、オリジナル画像判定用データが付加されません。

設定内容の確認

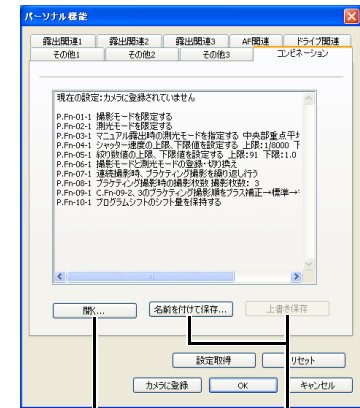
設定したパーソナル機能の内容や、カメラへの適用状態を確認することができます。

1 パーソナル機能を設定する （p.3-8 ～ p.3-14）

2 ［コンビネーション］タブを選ぶ

→ ［コンビネーション］タブ画面が表示されます。

3 設定内容を確認する

- パーソナル機能の設定内容と、カメラへの適用を確認することができます。

パソコンに保存されているパーソナル機能の設定内容を読み込むことができます。（p.3-15）

設定したパーソナル機能の内容を保存することができます。（p.3-15）

設定内容の保存／読み込み

設定したパーソナル機能を、パーソナル機能設定ファイルとしてパソコンに保存したり、パソコンに保存したパーソナル機能設定ファイルを読み込んで、カメラに適用することができます。

設定内容をパソコンに保存する

1 ［名前を付けて保存］ボタンを押す

→［名前を付けて保存］画面が表示されます。

2 保存先を選び、ファイル名を入力して［保存］ボタンを押す

→ 設定したパーソナル機能の内容が、パーソナル機能設定ファイルとしてパソコンに保存されます。

パーソナル機能設定ファイルは、設定したカメラ機種以外と互換性がありません。

- 保存済みのパーソナル機能設定ファイルを更新するときは、［上書き保存］ボタンを押します。
- パソコンに保存したパーソナル機能設定ファイルは、Windows ／ Macintosh 双方で互換性を持っています。

パソコンに保存した設定内容を読み込む

1 ［開く］ボタンを押す

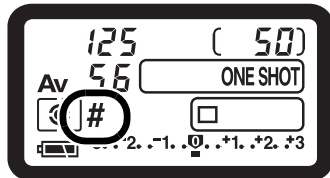
→［ファイルを開く］画面が表示されます。

2 設定内容の保存先を開き、ファイルを選んで［開く］ボタンを押す

→ 保存されているパーソナル機能設定ファイルが読み込まれます。

3 ［OK］ボタンを押す

→ 読み込んだ設定内容がカメラに適用され、［パーソナル設定］画面が閉じ、基本設定画面に戻ります。

→ パーソナル機能がカメラに適用されると、表示パネルに〈#〉が表示されます。

4 リモート撮影をする

この章では、パソコンからカメラを制御してリモート撮影を行う方法について説明します。

カメラとパソコンの接続方法や、EOS Utility の起動方法については、1 章を参照してください。(p.1-1)

- カメラのメニュー機能に［通信設定］のあるカメラでリモート撮影やカメラ設定を行うには、［通信設定］を下記表のように設定する必要があります。

カメラ別［通信設定］

カメラ機種	メニュー	設定項目
EOS 5D	［通信設定］	［PC 接続］
EOS 30D	［通信設定］	［印刷／ PC］
EOS 20D	［通信設定］	［標準］
EOS 10D	［通信設定］	［標準］
EOS Kiss Digital N	［2 通信設定］	［PC 接続］
EOS Kiss Digital	［2 通信設定］	［標準］

設定方法については、「通信設定のあるカメラの設定をする」(p.1-2)を参照してください。

- 表示したい項目をクリックすると、クリックしたページが表示されます。

リモート撮影

1 枚撮影

パソコンからカメラをリモートコントロールして撮影することができます。

1 ［カメラの設定／リモート撮影］ボタンを押す

→ カメラ設定画面が表示されます。

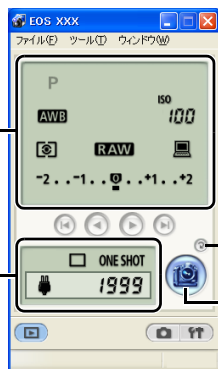
- メイン画面に切り換えるときは、［ウィンドウ］メニュー ▶［メイン画面］を選びます。

上記の画面は、EOS 30D を接続したときの表示例です。表示される画面内容は、接続するカメラ機種によって異なることがあります。

表紙／目次
はじめに
1 カメラから画像を取り込む
2 EOS-1D シリーズ以外のカメラを設定する
3 EOS-1D シリーズのカメラを設定する

4 リモート撮影をする
こんなときは
索　引

2 各種の設定を行う

カメラの設定と確認を行うことができます。(p.4-3)

カメラの位置に関わらず、撮影画像を回転して取り込むことができます。ボタンを押すたびに 90 度単位で角度を設定することができます。
※ 回転機能を使用するときは、［ファイル］メニュー ▶［環境設定］を選び、［リモート撮影］タブ画面の［画像の回転機能］をチェックします。

撮影ボタン
押すと撮影されます。

- 上記の画面は、EOS 30D を接続したときの表示例です。表示される画面内容は、接続するカメラ機種によって異なることがあります。

3 ［ ］ボタンを押す

→ 撮影した画像がパソコンに転送され、ZoomBrowser EX に表示されます。
- カメラのシャッターボタンを押して撮影することもできます。
- ［ファイル］メニュー ▶［終了］を選ぶと、カメラ設定画面を含む EOS Utility が終了します。

- カメラが撮影できない状態（レンズを取り付けていない状態など）では、手順通りの操作ができません。
- オートフォーカスではピントが合わないと撮影できません。そのときは、マニュアルフォーカスでピントを合わせてください。
- バルブ撮影はできません。

- 〈スペース〉キーを押して撮影することもできます。
- 撮影できる枚数は、パソコンのハードディスク空き容量により変わります。撮影可能枚数の表示（p.4-3）で確認してください。
- リモート撮影した RAW 画像が、パソコンへ転送される時間は約 4 ～ 7 秒です。
  - ・上記の時間はあくまでも目安です。転送時間は、使用しているカメラ機種、パソコンの種類、撮影する被写体により大きく異なります。
  - ・上記の時間は当社試験基準によります。
    （OS：Windows XP ／ CPU：Pentium4 2.2GHz ／ RAM：512MB 使用時）
  - ・JPEG 画像を撮影したときは、上記の時間よりも短くなります。
- 画像を取り込んだときに起動するソフトウェアを ZoomBrowser EX から、Digital Photo Professional に変更することができます。（p.4-3）

タイマー撮影

設定した時間が経過すると、自動的に撮影が行われます。

1 ［ツール］メニュー ▶［タイマー撮影］を選ぶ

→［タイマー撮影設定］画面が表示されます。

2 遅延時間を入力して［開始］ボタンを押す

- 設定時間の範囲は、1 秒単位で 0 分 0 秒～ 99 分 59 秒です。

→ 設定した時間が経過すると撮影されます。

インターバルタイマー撮影

撮影間隔と撮影枚数を設定し、自動撮影することができます。

1 ［ツール］メニュー ▶［タイマー撮影］を選ぶ

→［タイマー撮影設定］画面が表示されます。

2 ［インターバルタイマー撮影を行う］をチェックする

3 撮影間隔と撮影枚数を入力して［開始］ボタンを押す

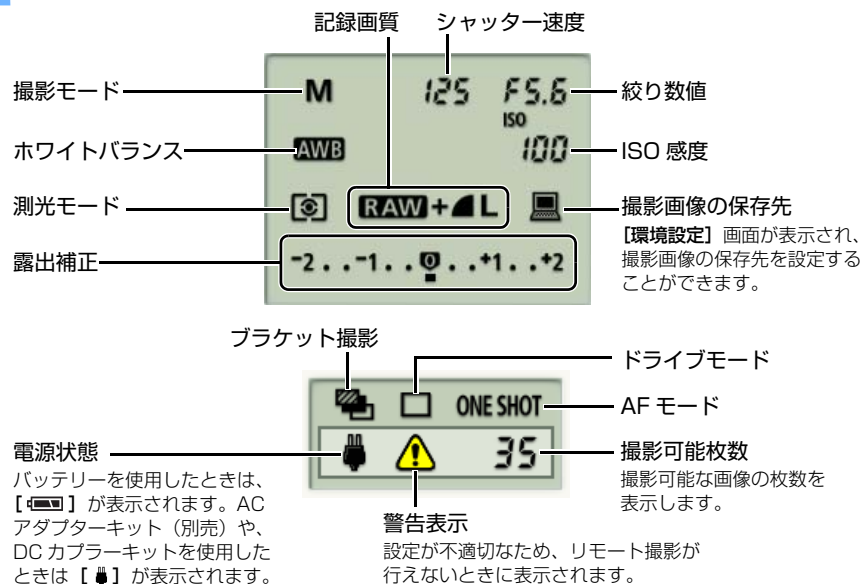
- 撮影間隔の範囲は、1 秒単位で 5 秒～ 99 分 59 秒です。
- 撮影枚数は、EOS-1D シリーズのカメラでは 2 枚～最大 9999 枚、EOS-1D シリーズ以外のカメラでは 2 枚～最大 999 枚です。

→ 設定した時間の間隔で、設定枚数の撮影が行われます。

使用しているパソコンによっては、撮影間隔の時間設定が短いと、画像の転送や保存が間に合わず、設定した間隔での撮影ができなくなることがあります。そのときは、撮影間隔の設定を長くして、再度撮影してください。

カメラを設定する

カメラの設定をリモート操作でパソコンから確認したり、再設定することができます。

1 カメラの設定内容を確認する

- 上記の画面は、EOS 30D を接続したときの表示例です。表示される画面内容は、接続するカメラ機種によって異なることがあります。
- リモート操作で設定できない機能（ドライブモード、AF モードなど）は、カメラで設定してください。
- **［環境設定］**の**［リモート撮影］**タブ画面で、**［カメラ内のメモリーカードにも保存する］**を設定すると、パソコンとメモリーカードの両方に撮影画像を保存することができます。

2 設定するアイコンをクリックする

- ここでは、露出補正を例にしています。

3 ボタンを操作して設定値を変更する

1 つ小さい設定値に変更します。
最小の値に設定します。
1 つ大きい設定値に変更します。
最大の値に設定します。

➜ 設定が変更され、カメラに適用されます。

設定は、必ずカメラが撮影可能な状態で行ってください。撮影できない状態（レンズを取り付けていない状態など）では、設定できない項目があります。

カメラ別の設定内容表示と設定可能な機能

	EOS-1D Mark II N EOS-1Ds Mark II EOS-1D Mark II EOS-1Ds	EOS 5D EOS 30D EOS 20D EOS Kiss Digital N	EOS 10D EOS Kiss Digital	EOS-1D EOS D60 EOS D30
撮影モード	◎	○	○	○
シャッター速度	◎	◎	◎	○
絞り数値	◎	◎	◎	○
ホワイトバランス	◎	◎	◎	○
ISO 感度	◎	◎	◎ *2	○
測光モード	◎	◎	○	○
記録画質	◎	◎	◎	○
撮影画像の保存先	◎	◎	◎	◎
露出補正	◎	◎	◎	○
ブラケット撮影	○ *1	○	–	–
ドライブモード	○	○	○	○
AF モード	○	○	○	○
電源状態	○	○	○	○
警告表示	○	○	○	○
撮影可能枚数	○	○	○	○

◎：カメラの設定内容の表示やカメラの設定を行うことができます。
○：カメラの設定内容は表示されますが、カメラの設定を行うことはできません。
*1：EOS-1Ds では表示されません。
*2：EOS 10D では設定できません。

環境設定

EOS Utility の各種設定を行うことができます。

1 ［ファイル］メニュー ▶［環境設定］を選ぶ

➜ ［環境設定］画面が表示されます。

2 各項目を設定して［OK］ボタンを押す

➜ 設定内容が EOS Utility に適用されます。

表紙／目次
はじめに
1 カメラから画像を取り込む
2 EOS-1D シリーズ以外のカメラを設定する
3 EOS-1D シリーズのカメラを設定する

こんなときは
索　引

こんなときは

この章では、各種トラブルの解決方法、ソフトウェアの削除について説明します。

● 表示したい項目をクリックすると、クリックしたページが表示されます。

こんなときは

「手順通りにインストールできない」、「カメラとパソコンが通信できない」、「ソフトウェアをインストールする前に、カメラとパソコンを接続してしまった」というときは、以下の項目を確認してください。

● インストールの手順については、カメラに付属の「ソフトウェアガイド」を参照してください。

手順通りにインストールできない

● ユーザー設定を Windows XP では［コンピュータの管理者］権限、Windows 2000 では［Administrator］権限以外に設定した状態でインストールしていませんか？
→ ユーザー設定を［コンピュータの管理者］権限、［Administrator］権限以外に設定していると、ソフトウェアをインストールすることができません。ユーザー設定を Windows XP では［コンピュータの管理者］権限、Windows 2000 では［Administrator］権限に設定してください。詳しい設定方法は、使用しているパソコンの使用説明書などを参照してください。

● プラグはしっかりと差し込まれていますか？
→ インストールを完了させるために、カメラとパソコンを接続するときは専用ケーブルのプラグをカメラとパソコンにしっかりと差し込んでください。

● カメラとパソコンが通信できる状態になっていますか？
→ カメラの電源スイッチが〈ON〉になっているか確認してください。
→ カメラの電源スイッチが〈ON〉になっていても、オートパワーオフが働くと、自動的に電源が切れます。オートパワーオフを「切」にしてください。詳しくは、カメラに付属のカメラ使用説明書を参照してください。

● インストール中に［新しいハードウェアの追加ウィザード］（Windows 2000 では［新しいハードウェアの検出ウィザード］）画面が表示されていませんか？
→［キャンセル］ボタンを押して専用ケーブルを取り外し、インストールをやりなおしてください。

● インストーラーパネルが表示されない？
→ 次の手順でインストーラーパネルを表示してください。
［スタート］ボタン ▶［マイ コンピュータ］をクリック（Windows 2000 では、デスクトップの［マイ コンピュータ］をダブルクリック）▶ CD を入れた CD-ROM ドライブをマウスの右ボタンでクリック ▶ 表示されるメニューから［開く］を選ぶ ▶ 右のアイコンをダブルクリックする

ソフトウェアをインストールしたのに、カメラとパソコンが通信できない

● ドライバはインストールされていますか？
→ カメラとパソコンの通信にはドライバが必要です。カメラとパソコンの通信を行うときは、使用している Windows により以下のドライバを必ずインストールしてください。
・Windows XP：WIA Driver
・Windows 2000：TWAIN Driver

● WIA Driver または、TWAIN Driver のインストールを完了していますか？
→ WIA Driver または、TWAIN Driver がインストールされていても、カメラとパソコンを接続しないとインストールは完了しません。Solution Disk を CD-ROM ドライブに入れて、WIA Driver または、TWAIN Driver をインストールしたあと、カメラとパソコンを接続してください。

● 使用しているパソコンは、以下に該当していますか？
■ EOS-1D シリーズ以外のカメラ
→ USB 接続部を標準装備した Windows XP、Windows 2000 の日本語版 OS プリインストール機。
※上記以外のパソコンに接続したときの動作は保証していません。
■ EOS-1D シリーズのカメラ
→ OHCI 準拠の IEEE1394 接続部を装備した Windows XP、Windows 2000 の日本語版 OS プリインストール機。
※上記以外のパソコンに接続したときの動作は保証していません。

● カメラとパソコンが正しく接続されていますか？
→ 専用ケーブルで、カメラとパソコンを正しく接続してください。(p.1-3、p.1-4)

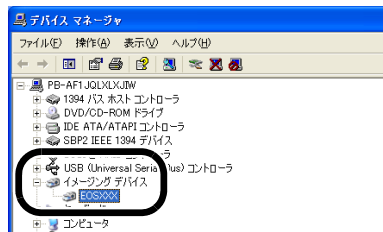
● 通信設定が必要なカメラで、正しい［通信設定］を行いましたか？
→ カメラの［通信設定］を、EOS 5D、EOS Kiss Digital N では［PC 接続］に、EOS 30D では［印刷／PC］に、また、EOS 20D、EOS 10D、EOS Kiss Digital では［標準］に設定してください。(p.1-2)
※ EOS 10D は、ファームウェアを Version 2.0.0 以上に変更する必要があります。変更については、弊社ホームページをご覧ください。

● カメラのバッテリー残量は十分ですか？
→ パソコンからカメラへの電源供給は行われません。EOS 5D、EOS 30D、EOS 20D、EOS 10D、EOS Kiss Digital N、EOS Kiss Digital では AC アダプターキット（別売）、EOS D60、EOS D30 では付属の DC カプラー、EOS-1D シリーズでは付属の DC カプラーキットを接続するか、充電済みのバッテリーを入れて、カメラとパソコンを接続してください。

表紙／目次
はじめに
1 カメラから画像を取り込む
2 EOS-1D シリーズ以外のカメラを設定する
3 EOS-1D シリーズのカメラを設定する
4 リモート撮影をする
こんなときは
索　引

- **2 台以上のカメラをパソコンに接続していませんか？**
  1 台のパソコンに 2 台以上のカメラを接続すると、ドライバおよびカメラが正しく動作しないことがあります。
  → ソフトウェアを終了してすべての専用ケーブルをパソコンから取り外します。そのあと、1 台のカメラだけをパソコンに再度接続してください。

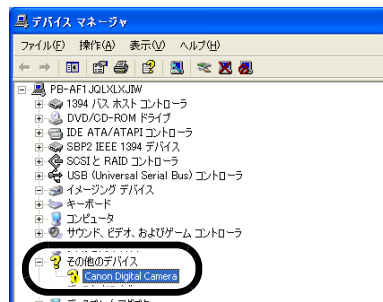
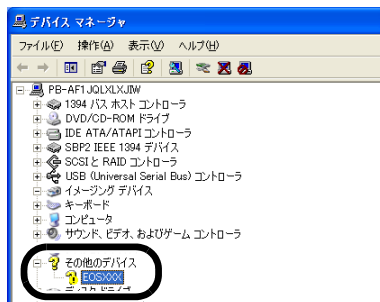
- **ドライバは正常に動作していますか？**
  カメラとパソコンを専用ケーブルで接続し、カメラの電源スイッチを〈ON〉にして、**［デバイス マネージャ］**を表示します。
  ［イメージング デバイス］の左にある**［+］**を押し、接続しているカメラが表示されているか確認します。
  → 接続しているカメラが表示されていないときは、ドライバが正しく動作していません。専用ケーブルをいったん取り外して、しっかりと差し込みなおしてください。それでも接続しているカメラが表示されないときは、次の手順でドライバをインストールしなおしてください。
  1 専用ケーブルを取り外して、ドライバを削除する （p.5-3）
  2 ドライバをインストールする
  → 接続しているカメラの横に［X］［!］［?］マークが付いているときは、ドライバの一部が削除されているか壊れています。次の手順でドライバをインストールしなおしてください。
  1 **［イメージング デバイス］**に表示されているカメラを削除する
  2 専用ケーブルを取り外して、ドライバを削除する （p.5-3）
  3 ドライバをインストールする

- **ドライバは正しくインストールされていますか？**
  → カメラとパソコンを専用ケーブルで接続し、カメラの電源スイッチを〈ON〉にして、**［デバイス マネージャ］**を表示します。**［その他のデバイス］**か**［不明なデバイス］**の左にある**［+］**を押し、接続しているカメラ、または**［Canon Digital Camera］**が表示されているか確認します。

→ **［その他のデバイス］**か**［不明なデバイス］**に接続しているカメラ、または**［Canon Digital Camera］**が表示されているときは、ドライバが正しくインストールされていません。次の手順でドライバをインストールしなおしてください。
1 **［その他のデバイス］**か**［不明なデバイス］**に表示されているカメラ、または**［Canon Digital Camera］**を削除する
2 専用ケーブルを取り外して、ドライバを削除する （p.5-3）
3 ドライバをインストールする

ソフトウェアをインストールする前に、カメラとパソコンを接続してしまった

- **カメラの電源スイッチを〈ON〉にしましたか？**
  → 〈ON〉にしていないときは、次の操作を行ってください。
  1 専用ケーブルをカメラとパソコンから取り外す
  2 手順通りパソコンに Solution Disk のソフトウェアをインストールし、カメラとパソコンを接続して、インストールを完了する
  → 〈ON〉にしてしまったときは、次の操作を行ってください。
  1 **［新しいハードウェアの検出ウィザード］**などが表示されたときは、**［キャンセル］**ボタンを押して表示された画面をすべて取り消す
  2 カメラの電源スイッチを〈OFF〉にする
  3 専用ケーブルをカメラとパソコンから取り外す
  4 手順通りパソコンに Solution Disk のソフトウェアをインストールし、カメラとパソコンを接続して、インストールを完了する

デバイス マネージャを表示するには

- **Windows XP**
  → **［スタート］**ボタン ▶ **［コントロール パネル］**を選び、**［パフォーマンスとメンテナンス］** ▶ **［システム］**の順にクリックし、**［ハードウェア］**タブを選んで、**［デバイス マネージャ］**ボタンを押します。
- **Windows 2000**
  → **［スタート］**ボタン ▶ **［設定］** ▶ **［コントロール パネル］**を選び、**［システム］**アイコンをダブルクリックして開き、**［ハードウェア］**タブを選んで、**［デバイス マネージャ］**ボタンを押します。

ソフトウェアを削除する（アンインストール）

- ソフトウェアの削除を行うときは、コンピューターの管理者／ Administrator 権限でログオンしてください。
- ソフトウェアの削除をはじめる前に、起動しているすべてのソフトウェアを終了し、専用ケーブルをパソコンから取り外してください。
- ソフトウェアを削除したあとは、必ずパソコンを再起動してください。パソコンが正しく動作しないことがあります。再起動をしないでソフトウェアを再インストールすると誤動作の原因になります。

1 ［スタート］ボタン ▶ ［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）▶ ［Canon Utilities］ ▶ ［EOS Utility］ ▶ ［EOS Utility アンインストール］を選ぶ

2 表示される画面内容にしたがって、削除をすすめる

→ ソフトウェアが削除されます。

ドライバを削除する

ここでは、EOS-1D Mark II N、EOS-1Ds Mark II、EOS 5D、EOS 30D、EOS 20D、EOS Kiss Digital N のドライバの削除について説明します。前記のカメラ以外のドライバ削除方法については、カメラに付属のソフトウェア使用説明書を参照してください。

- ドライバの削除を行うときは、コンピューターの管理者／ Administrator 権限でログオンしてください。
- ドライバの削除をはじめる前に、起動しているすべてのソフトウェアを終了し、専用ケーブルをパソコンから取り外してください。

1 ［EOS XXX WIA Driver］、または［EOS XXX TWAIN Driver］を削除する

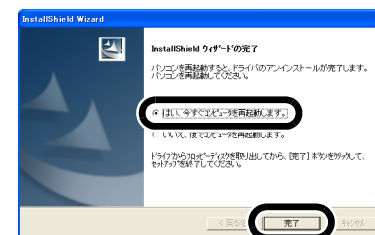
- EOS XXX には、使用しているカメラ名が表示されます。
- Windows XP を使用しているときは、**［スタート］**ボタン ▶ **［すべてのプログラム］** ▶ **［Canon Utilities］** ▶ **［EOS XXX WIA Driver］** ▶ **［WIA Driver アンインストール］**を選びます。
- Windows 2000 を使用しているときは、**［スタート］**ボタン ▶ **［プログラム］** ▶ **［Canon Utilities］** ▶ **［EOS XXX TWAIN Driver］** ▶ **［TWAIN Driver アンインストール］**を選びます。

2 表示される画面内容にしたがって、削除をすすめる

→ ドライバが削除されます。

3 パソコンを再起動する

- 右の画面が表示されたら、**［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］**を選び、**［完了］**ボタンを押します。

→ パソコンを再起動すると、ドライバの削除が完了します。

表紙／目次
はじめに
1 カメラから画像を取り込む
2 EOS-1D シリーズ以外のカメラを設定する
3 EOS-1D シリーズのカメラを設定する
4 リモート撮影をする
こんなときは
索　引

フォルダ構造とファイル名について

カメラで撮影した画像は、メモリーカードの［DCIM］フォルダ内に、以下のフォルダ構造、ファイル名で保存されます。

EOS-1D シリーズ以外のカメラ

ファイル名	画像の種類／撮影したカメラ	
IMG_YYYY.JPG	JPEG 画像	
IMG_YYYY.CR2	RAW 画像	EOS 5D、EOS 30D、EOS 20D、EOS Kiss Digital N
IMG_YYYY.CRW		EOS 10D、EOS Kiss Digital、EOS D60、EOS D30
CRW_YYYY.THM	カメラのインデックス表示用画像	

- ファイル名の YYYY には、0001 ～ 9999 までの数字が入ります。

EOS-1D シリーズのカメラ

ファイル名	画像の種類／撮影したカメラ	
****YYYY.JPG	JPEG 画像	
****YYYY.CR2	RAW 画像	EOS-1D Mark II N、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II
****YYYY.TIF		EOS-1Ds、EOS-1D
****YYYY.WAV	音声ファイル	

- ファイル名の **** には、工場出荷時に設定されたカメラ固有の文字が入ります。
- EOS-1D Mark II N で撮影した画像の **** には、工場出荷時に設定または、カメラで設定したカメラ固有の文字が入ります。
- ファイル名の YYYY には、0001 ～ 9999 までの数字が入ります。

［DCIM］フォルダの画像を管理するファイルが入っているフォルダです。

- フォルダ名の xxx には、100 ～ 999 までの数字が入ります。
- EOS-1D Mark II N、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II の CF カードと SD カードのフォルダ構造は同じです。
- カメラで DPOF の設定を行うと［MISC］フォルダが作成されます。［MISC］フォルダには、DPOF の設定内容を管理するファイルが保存されています。

EOS-1D Mark II N、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II、EOS 5D、EOS 30D、EOS 20D、EOS Kiss Digital N で Adobe RGB に設定し撮影した画像は、ファイル名の先頭文字が「 _ 」（アンダーバー）になります。

索　引

表紙／目次
はじめに
1 カメラから画像を取り込む
2 EOS-1D シリーズ以外のカメラを設定する
3 EOS-1D シリーズのカメラを設定する
4 リモート撮影をする
こんなときは
索　引